小学校教諭一種免許状

#	
第三欄 第三欄 第三欄 第三欄 第三欄 第三欄 第三欄 第三欄 第「 「	
新育の基準の理念並びに教育に関する歴史及び思想 本語では、	
第三欄 第三欄 第三欄 解	
第三欄 第三欄 解 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	
第三欄 解 に 関 す る を 産 を で 対 の の を を で と の の の の の の の の の の の の の の の の の の	
第三欄	
第三欄	
で	
A	
本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	
第	
(カリキュラム・マネジメント を含む。) **生道 (徒徳の理論及び指導法 □ ● 道徳の歴史と方法(2) **佐徳 指,	
### (また) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
指, 導総	
第四欄 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法 □ ● 教育におけるICT活用(1) 生徒指導の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関	
第四欄 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論 (2) 情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法 □ ● 教育におけるICT活用 (1) 生徒指導の理論及び方法 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の 和指 国導 法 教育相談 (カウンセリングに関	
第四欄 情報通信技術を活用した教育 □ ◆ 教育におけるICT活用 (1)	
第四欄	
す等 るの 科指 目導 法 教育相談(カウンセリングに関	
るの 進路指導及びキャリア教育の □ ● 生徒指導・進路指導の埋論と方法(2) 料指 理論及び方法 理論及び方法 教育相談 (カウンセリングに関	
法 教育相談(カウンセリングに関	
及 する基礎的な知識を含む。)の □ ● 教育相談の理論と方法(2) び 理論及び方法	
★育宝翌 (小) (4) *3年次小学校宝翌 → は巻かって	
教 事前·事後指導(小)(1)*3年次小学校実習 特別支援(小学校)	
育	
大 教育宝羽	
等工棚 C	
(美)	
す	
科 □ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)	
目 教職実践演習 □ ◆教職実践演習(幼・小・中・高)(2)	
□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)	
□ ● 介護等体験実習(1) □ 健康教育概論(2)	
□ 健康教育概論(2) □ キャリアサポート実習 I (1)	
□ キャリアサポート実習 II (1)	
□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次	
□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次	
第六欄 大学が独自に設定する科目 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次	
□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次	
□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次	
□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次	
□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次	
□ 教育実践の最新動向(2)	

小学校教諭一種免許状

第一村	科目区分	1	教職に関する計日 目に含めることが必要な事項				科目名	(単位数)				評価	取得年			
			国語		小学校国	語基礎(書写を含	む。) (1))							
			(書写を含む。)		小学校国	語講義(2)										
					小学校社	:会基礎(1)										
			社会		小学校社	:会講義(2)	 									
						数基礎(1)										
			算数			数演習(1)										
						科基礎(1)										
		教	生活			門生活(1)										
		科 に				· ·楽基礎(1)										
		関	音楽			* 楽実技(1)										
	教	する	日本			来表版(1) 楽講義(2)										
	科	専				来講我(2)										
	及び	門	図画工作													
	教	事	凶四上作			画工作演										
	科の	項				画工作講										
<i>₩</i> → 1	1, 1⊆		家庭			庭科基礎										
第二村	ᅤ 導					庭科実習										
	法に					育実技基礎										
	関		体育			育実技(1)										
	すっ					育講義(2)										
	る科		外国語			語基礎(1)										
	目	let to			小学校英	語演習(2)										
		教各 材教	国語(書写を含む。)		小学校国	語科教育	去(2)									
		の科	社会		小学校社	:会科教育	去(2)									
		活用を含え	算数		小学校算	数科教育	去(2)									
			を導	用指 を導	を導	理科		小学校理	科教育法	(2)						
			音楽		小学校音	楽科教育	去(2)									
		む 。 情	図画工作		小学校区	画工作教	育法(2)									
		~ 報	体育		小学校体	育科教育	去(2)									
		機 器	家庭		小学校家	庭科教育	去(2)									
		及	生活		小学校生	活科教育	去(2)									
		び	外国語		小学校英	語科教育	去(2)									
最終チ	エック	(以下のう	チェック項目を全て満	iたすこ	とにより	, 卒業時に	こ教員免託	午状が授与	チされます	├。)		I				
			とり、「English Comm		ionA又は	B」 2 単位	,「デー	タサイエ	ンス基礎	」2単位	:, 「法と	社会B」:	2 単位,			
			3」2単位を修得して		_ 1	→ LBB > > &	순 1 . LBB . Ta .	イェル クリン	//L = A =)	b 1				
			選択必修科目を修得し にある()内数字				月八 懶 ま	Cの修得 事	単位の合語	†から9 =	単位以上(ざめること	0			
			る科目は必修科目と		X (a) a o											
	_		ている科目は、同一		いら選択』	必修とする	0									
注3	本紙は,	学期初め	(1年前期除く)に「	履修単位	立数確認	届」と共に	指導教	員へ提出し	<u>」,確認</u> ?	を得るこ	<u>と</u> 。					
			習手引」に綴り,大	切に保管	管すること	- 0										
	二種の場			- 41 -		V			. 61 -	() , <i>(</i>) , ϕ =						
			教科の指導法に関す は無機器及び数は					_					r£			
			: (情報機器及び教材 科目以上を含む。)を			_				ョ朱,凶	四上作义に	*14月の教	ለተት			
			全ての必修・選択必					ハユ \ α) ⁽	w							
						· i導教員確										
							a #-									
1年 後期		2年 前期	2年 後期		3年 前期		3年 後期		4 年 前期		4年 後期					

幼稚園教諭一種免許状

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 評価 取得年 科目名 (単位数) 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。 □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す る歴史及び思想 教 西洋の子どもと学校史(2) 育 □ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の \mathcal{O} 発達及び学習の過程 基 学習心理学(2) 礎 特別の支援を必要とする幼児、 的 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 児童及び生徒に対する理解 理 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I (2) 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 関 又は経営的事項(学校と地域 す □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) との連携及び学校安全への対 る 生涯学習論(2) 応を含む。) 科 \blacksquare 教育行財政(2) □ ● 幼稚園教育課程論(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 幼稚園教育基礎論 I (2) を含む。) □ ● 幼稚園教育基礎論 II (2) 談指徳教育の方法及び技術(情報機 □ ● 幼稚園教育方法論(2) 等導、器及び教材の活用を含む。) に法総 関及合 すび的 第四欄 る生な幼児理解の理論及び方法 科徒学 目指習 □ ● 幼児理解と教育相談(2) ^{導の}|教育相談(カウンセリングに ,時関する基礎的な知識を含 育等む。) の理論及び方法 教育実習(小)(4)*3年次小学校実習 小学校コース □② 【 事前・事後指導 (小) (1) *3年次小学校実習 特別支援 (小学校) 教育実習(中)(2)*3年次中学校実習 教 及び 育 「教育実習(小) (2) *4年次小学校実習 中学校コース. 実 □ ② 事前・事後指導(小)(1)*4年次小学校実習 特別支援(中学校) 教育実習 践 又は 第五欄 (教育実習(幼)(2)*4年次幼稚園実習 関 └ 事前・事後指導(幼)(1)*4年次幼稚園実習↓ す る 科 学校生活体験実習Ⅱ(1) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職実践演習 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次 地域コラボレーション演習 I * 2年次 (1) 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I * 3年次 (1) 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ (1) * 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ * 2年次 (1) 地域コラボレーション演習Ⅱ * 3年次

地域コラボレーション演習Ⅱ(1)

教育実践の最新動向(2)

* 4年次

П

幼稚園教諭一種免許状

42			教育教員養成課程衫	以前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1							
第一	利 科目区		教職に関する科目 目に含めることが必要な事項	科目名 (単位数)	評価	取得年					
	領域	項領域	健康	□ ● 幼児と健康(1)							
	及び	に関	人間関係	□ ● 幼児と人間関係(1)							
	保育	す	環境	□ ● 幼児と環境(1)							
	内	る専	言葉	□ ● 幼児と言葉(1)							
	容の	門的	表現	□ ● 幼児と表現(音楽)(1)							
第二档	損損	事	2000	□ ● 幼児と表現(造形)(1)							
	法に			□ ● 保育内容指導法 I (健康)(2)							
	関			□ ● 保育内容指導法 II (人間関係)(2)							
	する		客の指導法(情報機 オの活用を含む。)	器 □ ● 保育内容指導法Ⅲ (環境・言葉)(2)							
	科目			□ ● 保育内容指導法IV(表現)(2)							
				□ ● 保育内容指導法V(表現)(2)							
	□ 教養 「運	教育科目 動と健康	より, 「English C B」2単位を修得し	て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。) ommunicationA又はB」2単位、「データサイエンス基礎」2単位、「法 いている。 身していること。第二欄から第六欄までの修得単位の合計が51単位以」							
				字は単位数である。							
注2			いる科目は必修科目								
沙 9				一番号内から選択必修とする。 :「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。							
				. 「腹疹単位数性酪腫」と共に指導致良へ促血し、性齢を持ること。 大切に保管すること。							
	二種の		<u> </u>	7 (7)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-)(1-							
				に関する科目」の「領域に関する専門的事項」から1科目以上, 「保育		導法					
)」から1科目以上を修得し,第二欄の合計が12単位以上であること 必修科目を修得していること。	0						
	/九二/闸/	- 分 /11側り		が が 対 日 を が 付 し と い る こ と 。							
1年 後期		2年前期	2年 後期	3年 3年 4年 4年 4年 6期 6期 6期 6期 61 62 63 63 64 64 64 64 64 64							

特別支援学校教諭一種・二種免許状 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

	教育学部学	校教育教員養成課程特別才	泛援教育區	事攻・初等中等参	(育専攻			7133	T
	科目	目事項 (必修単位数)		科	目名 (必修単位数))	備考	評価	取得年
	第一欄特			□ ● 特別支援都	数育の基礎理論(2)				
	- 第一懶 	基礎理論に関する科目		□ 特別支援都	数育の原理と歴史	(2)			
	特	別支援教育領域に関する種	斗目						
				□ ● 知的障害者	皆の心理(2)		知		
				□ 精神衛生(2)		知		
		・心身に障害のある幼		□ ● 知的障害者	皆の生理・病理(2)		知		
Λ		児童又は生徒の心理 生理及び病理に関す		□ 臨床発達	心理学演習(2年)	前)(1)	知		
A		科目		□ 臨床発達	心理学演習(2年往	後) (1)	知		
特	第二欄			□ ● 肢体不自同	自者の心理・生理・タ	病理(2)	肢/知		
別支				□ ● 小児疾患(2)		病		
支援教育				□ ● 特別支援等	学校の教育課程(2)	1	知		
教育		ンカルではのよっ!	1111	□ ● 知的障害者	者の指導法(2)		知		
に		・心身に障害のある幼 児童又は生徒の教育		□ 特別支援教	效育体験実習(2)		知		
関		及び指導法に関する			效育相談支援(2)		知		
する科目 26				□ ● 肢体不自同			肢/知		
				□ ● 病弱者の打	旨導法(2)		病		
	免	許状に定められることとな 特別支援教育領域以外の領	よる 頁域に関 [・]	する科目					
単位				□ ● 視覚障害者	者教育総論(2)		視		
位		・心身に障害のある幼児 児童又は生徒の心理,]児, ! #	□ ● 聴覚障害者	者教育総論(1)	聴/発(言	語)		
	第三欄	理及び病理に関する		□ ● LD者等都	效育総論(1)	発 (LD・AD	HD)		
		・心身に障害のある幼		□ ● 重度・重複	复障害者教育総論	(1)	重複		
		児童又は生徒の教育 及び指導法に関する		□ ● 自閉症・性	青緒障害者教育総調	論(1)	発(自閉・	情緒)	
				□ 言語障害	者教育総論(1)		発 (言語)		
	** □ □ □	身に障害のある幼児、児童	<u> </u>	□ ● 特別支援等 (事前	学校実習 ・事後指導含む)((3)			
	第四欄	又は生徒についての教育等	官習	□ 特別支援等 (特別3	学校実習 支援教育専攻4年	欠) (2)			
最終	チェック(以下のチェック項目を全て	「満たす、	ことにより、卒業	美時に教員免許状だ	が授与されます	·)		<u>,l</u>
	□一種免許	状・二種免許状ともに,自	全ての必何	多・選択必修科目 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	を修得したうえて	で、総修得単位	数が27単位	立以上であ	ること。
注 1	科目名な	どの後ろにある()は	単位数で	ある。					
注 2	「●」を	付している科目は必修科	目とする	0					
注3	本紙は,	学期初め(1年前期除く)	に「履修	単位数確認届」	と共に指導教員へ	提出し、確認	<u>を得ること</u> 。		
注4	本紙は,	「教育実習手引」に綴り、	大切に	保管すること。					
				指導教員	確認欄				
1 :		2年 2年		3年	3年	4年		4年	$\overline{}$
後:	期	┃ 前期 ┃ ┃ 後期		前期	後期	前期	1	後期	1/

中学校教諭一種免許状 (国語)

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻

第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
21.1 July	科目区分		打百石 (千匹級)	нііш	47 10 1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	教	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	\mathcal{O}	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2)		
	基	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
	礎 的				
第三欄	理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	る	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) 」		
	科	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法	1 X11XX(2)		
		(カリキュラム・マネジメントを含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道 徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	導総 , 合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的 育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	月相談等の	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
	に時 関間	生徒指導の理論及び方法			
	科指	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
		教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	教	注	□ ② 【教育実習(中)(4)*3年次中学校実習		
	育		教育実習(小)(2) *3年次小学校実習		
	実 践	教育実習	□② 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習		
646 188	に	X 1, X 1	事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習		
第五欄	関		□ 学校生活体験実習 I (1)		
	す		□ 研究教育実習(2) □ 学校教育支援実習(4)		
	る 科		□ 対 徴育又振失育(4) □ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	目	教職実践演習	□ ◆ 教職実践演習 (幼・小・中・高) (2)		
	Н		□ 教職キャリア発展演習 (幼・小・中・高) (1)		
			□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習Ⅱ(1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	7	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

中学校教諭一種免許状 (国語)

第一欄		教科及び教職に関する	る科目				科目名	(畄冶粉)			評価	取得年
牙 1	科目区分	各科目に含めることが	必要な事項				17171	(半仏教)			6十7川川	以行十
					日本語学I	(2)						
					日本語学Ⅱ	(2)						
					日本語学演習	習 I (2)	2 単位					
		国語学(音声言語)	及び文章表		日本語学演習	習Ⅲ(2).	選択必修	È				
		現に関するものを含	含む。)		日本語学演習	習Ⅱ(2)						
					日本語学演習	習IV(2)						
					日本語学特詞	論 I (2)						
	*				日本語学特語	論Ⅱ(2)						
	中				日本文学 I	(国文学	空史を含む	د.) (2)			
	- 学 校教			日本文学Ⅱ	(国文学	史を含む	s _o) (2)	l				
	二科				日本文学特記	論 I (2)						
	種及のび				日本文学特記	論Ⅱ(2)						
	場教			日本文学講書	読 I (2)							
	合科		を今ね)		日本文学講書	読Ⅱ(2)						
第二欄	, 指				日本文学演習	習 I (2)						
217 — A17	 太導 字法				日本文学演習	習Ⅱ(2)						
	のに				日本文学演習	習Ⅲ(2)						
	科関目す				日本文学演	習IV(2)						
	する				日本文学史	I (2)						
	必科				日本文学史]	Ⅱ (2)						
	修目と	漢文学		漢文学 I (2))							
	とする			漢文学講読								
	3			漢文学演習								
					漢文学特論	I (2)						
		書道(書写を中心。	とする。)		書道 I (2)							
					書道演習 I(
					国語科教育							
		各教科の指導法(性が対ける			国語科授業							
		び教材の活用を含む	ひ。)		国語科教材記	-1						
単級エ	- w A	(四下のチェッカ塔	ロナムケ洪		国語科教育		-	小下公拉	ニナルナナ	\		
取称ア	ェック] 教養教	(以下のチェック項 数育科目より,「En	日を至く両 glish Comm	/ごり ⊂ ∂ unicati	こにより,至 onA又はB」	产業時に 2単位,	教貝児計 「デー?	·扒か技り タサイエ	ナされます。 ンス基礎」) 2単位,「法と	:社会B」:	2 単位,
Г		動と健康B」2単位 D必修・選択必修科			- し - 笠一坦	盟かた 笠	土増まで	の依但員	4位の会計が	ミの単位いた	でなステレ	
注1 7	斗目名な	:どの後ろにある() 内数字/	は単位数		別かり先	ハ 伽 よ し	V / 15/1寸与	<u> </u>	<u> </u>	(0)0-2	0
注2		·付している科目はぬ), ③」を付している			内から選却	以修レ-	ナス					
	本紙は,	学期初め(1年前期	除く)に「	<u>覆修単位</u>	<u></u>			へ提出し	確認を得	<u> </u>		
		「教育実習手引」に ・目(「各教科の指導				:法で定)	カス一般に	的包括的	内容を含む	科目である		
	N 1 V 2/17	ロ (・ ロ 4X/F) ×21日号	TIA] 6/11/	10, 1		教員確認		-1 EJH1	14.6 10	11 H C W O		
. –			0 Fr				o t					
1年 後期		2 年 前期	2年 後期		3年 前期		3年 後期		4 年 前期	4年 後期		

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状(国語) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 第一欄 取得年 科目名(単位数) 評価 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 \mathcal{O} □ ● 人間教育論 Ⅱ (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 礎 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I(2) ~ 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 応を含む。) 生涯学習論(2) 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) 目及道 総合的な探求の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) が徳 生, 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 徒 総 指合教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 導的 な情報通信技術を活用した教育 □ ● 教育におけるICT活用(1) 教学の理論及び方法 第四欄 育習 相の生徒指導の理論及び方法 談時 □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 等間進路指導及びキャリア教育の に等理論及び方法 関の す指教育相談(カウンセリングに関 る導する基礎的な知識を含む。)の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 科法 理論及び方法 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって 教 あてることができる 育 * 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, 実 し事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 J 特別支援 (中学校) 践 教育実習 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 第五欄 特別支援 (小学校) 関 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 す 学校生活体験実習 I(1) る 研究教育実習(2) 科 学校教育支援実習(4) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職実践演習 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) -- キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1)* 1年次 地域コラボレーション演習I (1)* 2年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ * 1年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 2年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 3年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 4年次 (1)道徳の歴史と方法(2)

教育実践の最新動向(2)

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状(国語) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 第一欄 科目名 (単位数) 評価 取得年 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 □ ● 日本語学 I (2) □ ● 日本語学 II (2) □ ② 日本語学演習 I (2)] 2単位 □②日本語学演習Ⅲ(2)」選択必修 国語学(音声言語及び文章表 現に関するものを含む。) 日本語学演習Ⅱ(2) 日本語学演習IV(2) 日本語学特論 I (2) 日本語学特論 Ⅱ(2) □ ● 日本文学 I (国文学史を含む。)(2) 教 科 □ ● 日本文学Ⅱ (国文学史を含む。) (2) 及 日本文学特論 I (2) び 教 日本文学特論Ⅱ(2) 科 □ ● 日本文学講読 I (2) \mathcal{O} □ ● 日本文学講読 II (2) 指 第二欄 国文学(国文学史を含む。) 道 日本文学演習 I (2) 法 日本文学演習 II (2) に 関 日本文学演習Ⅲ(2) す 日本文学演習 \mathbf{N} (2) る 科 日本文学史 I (2) 目 □ ● 日本文学史 II (2) □ ● 漢文学 I (2) □ ● 漢文学講読 I (2) 漢文学 漢文学演習 I (2) 漢文学特論 I (2) □ ③ 国語科教育法(2) □ ③ 国語科授業論(2) 教科の指導法 各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。) 4 単位選択必修 □ ③ 国語科教材論(2) □ ③ 国語科教育方法論(2) 第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上 注1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。 「●」を付している科目は必修科目とする。 「①, ②, ③」を付している科目は、同一番号内から選択必修とする。 注3 本紙は、**学期初め(1年前期除く)に「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。**

取於:	ツク (以下の)エツク項目を生し個だりことにより、 半来時に教員光計初か仅与されより。 /	
	教養教育科目より, 「English CommunicationA又はB」2単位, 「データサイエンス基礎」2単位, 「法と社会B」2』	単位,
	「運動と健康B」2単位を修得している。	
	今ての立体、選択立体利用な体理していること。第二爛から第六爛までの体理単位の今卦が50単位以上でなること。	

- 注2
- 「教育実習手引」に綴り、大切に保管すること。 注4 本紙は、
- 太字の科目は、教育職員免許法で定める一般的包括的内容を含む科目である。

指導教員確認欄

1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 中学校教諭一種免許状(社会) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 評価 取得年 科目名(単位数) 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 0 □ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 磔 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I (2) に 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 生涯学習論(2) 応を含む。) 日 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。 道徳の理論及び指導法 □ ● 道徳の歴史と方法(2) 徒徳 総合的な学習の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) 導総 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 教的 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 育な 相学 情報通信技術を活用した教育 談習 □ ● 教育におけるICT活用(1) 第四欄 等の の理論及び方法 に時 生徒指導の理論及び方法 関間 す等 進路指導及びキャリア教育の □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) るの 科指 理論及び方法 目導 教育相談(カウンセリングに関 決 及 する基礎的な知識を含む。) の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 75 理論及び方法 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, □ ② 【 教月天白 (T/ (五/) 1) *3年次中学校実習 事前・事後指導 (中) (1) *3年次中学校実習 教 特別支援 (中学校) 育 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, 実 \square ② 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 特別支援 (小学校) 教育実習 践 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 第五欄 学校生活体験実習 I(1) 関 研究教育実習(2) す 学校教育支援実習(4) る 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 科 教職実践演習 □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) Ħ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次 地域コラボレーション演習 I * 2年次 (1) * 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1)地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習 Ⅱ (1)* 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ (1)* 2年次

地域コラボレーション演習Ⅱ

教育実践の最新動向(2)

地域コラボレーション演習Ⅱ(1)

* 3年次

* 4年次

(1)

第一欄		教科及び教職に関				科目名	(単位数))			評価	取得年
>14 IPI	科目区分	各科目に含めること	が必要な事項		日本史(2)		(P. I. Illeni	
					日本史特殊講義]	(2)						
					日本史特殊講義Ⅰ							
					東洋史(2)							
					西洋史(2)							
		日本史・外国史			日本史基礎演習(
		7100			西洋史特殊講義]							
					西洋史特殊講義 I 歴史学演習 I (2)	(2)						
					歴史子演習 I (2) 歴史学演習 II (2)							
					歴史学演習 Ⅲ (2)							
					歴史学演習Ⅳ(2)							
					地理学慨論(2)							
					地誌学(2)							
					地図学(2)							
	*				人文地理学 I (2)							
	中				人文地理学Ⅱ(2)	হ্বার (০)						
	学				人文地理学基礎沒 自然地理学基礎沒							
	校教	地理学(地誌を行	今ま。)		自然地理学基礎(自然地理学 I (2)	自首(4)						
	1 種及	地建于 (地間で)	п ч 。/		自然地理学 I (2)							
	のび				地理学演習 I (2)							
	場教				地理学演習Ⅱ(2)							
	合科				地理学演習Ⅲ(2)							
	はの , 指				地理学演習IV(2)							
第二欄	太導				地理学巡検 I (1)							
	字法				地理学巡検Ⅱ(1)	0 14 14						
	のに				法学慨論(2) 政治学概論(2)	2 単位 選択必修						
	科関				国際法(2)	逐八处形						
	目す			<u> </u>	国際政治学(2)							
	必科	「法律学、政治学	学」		政治学演習 I (2)							
	修目				政治学演習Ⅱ(2)							
	논				政治学演習Ⅲ(2)							
	する				政治学演習IV(2)	2)						
	, a			政治学特殊講義(経済学概論(2)	2)							
				社会学 I (2)								
					社会学Ⅱ(2)							
		「社会学、経済学	学」		社会学特殊講義(2)						
					社会学演習 I (2)							
					社会学演習Ⅱ(2)							
					社会学演習 Ⅲ (2)							
					社会学演習Ⅳ(2) 哲学 I (2)							
		「哲学、倫理学、	、宗教学」		哲学Ⅱ(2)							
					社会科教育法(2)							
				.及 □ ●	社会科授業論(2)							
		び教材の活用を含	含む。)		中等社会・地理歴			2)				
		(NIT of)	古ロシヘー		中等社会・公民科			ラト シュー	<u>+</u> + ١			
最終チ	エック ┐	(以下のナェック か苔科日トn 「	頃日を全て Fnglich C	、満たすこ ommunica	ことにより,卒業® tionA又はB」2単	すに教員兒 仂 「デ	日計状が持 一タサイ	t ナされる ェンマゴ	k 丁。) 磁 ₋ 2 単	位 「注	レ社会ロ	9 甾位
	「運動	助と健康B」2単	位を修得し	ている。								
20] 全ての	り必修・選択必修	科目を修得	身している	ること。第二欄から	5第六欄ま	きでの修得	身単位の台	計が59	9 単位以上	上であるこ	. と。
		:どの後ろにある :付している科目/			一数である。							
仁. 乙	[(1)~(3)	. p. している付目()」を付している和	は心形付日 科目は、同	こりる。 一番号内	から選択必修とす	`る。						
注3 本	< 紙は,	学期初め(1年前	期除く)に	: 「履修単	≦位数確認届」と#		女員へ提出	はし. 確請	忍を得る	<u>こと</u> 。		
注4 4	紙は,	「教育実習手引」	に綴り,	大切に保	:管すること。	合はっ	加加一一	44 44 /-> 2	A+.11 P	マンナ フ		
仕り ス	、子の科	日(「谷靫科の]	百导法」以	グト) ば,	教育職員免許法で		放的包括	的内容を	古む科目	じめる。		
		T	1		指導教員研	■記憶		1	1	1	1	<u> </u>
1年		2年	2年		3年	3年		4年		4年		
後期		前期	後期		前期	後期		前期		後期		
												<u>/</u>

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状(地理歴史) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 第一欄 評価 取得年 科目名(単位数) 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 \mathcal{O} □ ● 人間教育論 Ⅱ (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 礎 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I(2) ~ 1. 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) J る との連携及び学校安全への対 科 応を含む。) 生涯学習論(2) 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) ^{目及道}総合的な探求の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) 生, 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 徒総 指合教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 導的 な情報通信技術を活用した教育 □ ● 教育におけるICT活用(1) 教学の理論及び方法 第四欄 育習 相の生徒指導の理論及び方法 談時 □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 等間進路指導及びキャリア教育の に等理論及び方法 関の す指教育相談(カウンセリングに関 る導する基礎的な知識を含む。)の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 科法 理論及び方法 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって 教 あてることができる 育 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, 実 し事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 J 特別支援(中学校) 教育実習 践 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 第五欄 特別支援 (小学校) 関 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 す 学校生活体験実習 I(1) る 研究教育実習(2) 科 学校教育支援実習(4) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職実践演習 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) -- キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I * 1年次 (1) 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ * 1年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 2年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 3年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ

(1)

道徳の歴史と方法(2)

教育実践の最新動向(2)

* 4年次

「教員		下取得チェックシート 学科学校教育教員養成課程初等	」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状 第中等教育専攻・特別支援教育専攻	犬 (地野	里歴史)
左 押	秋月-	教科及び教職に関する科目		₹#. (π.)	斯 伊 左
第一欄	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名(単位数) 	評価	取得年
			□ ● 日本史(2)		
			□ ② 日本史特殊講義 I (2)] 2 単位		
			□②日本史特殊講義Ⅱ(2) □ 選択必修		
		日本史	□ 日本史基礎演習(2)		
			□ 歴史学演習 I (2)		
			□ 歴史学演習 II (2)		
			□ 歴史学演習Ⅲ(2)		
			□ 歴史学演習IV(2)		
			□ ● 東洋史(2)		
	教科	外国史	□ ● 西洋史(2)		
	及	/ 国文	□ ③ 西洋史特殊講義 I (2)] 2 単位		
	び		□③ 西洋史特殊講義Ⅱ(2) □ 選択必修		
	教科		□ ● 地理学慨論(2)		
	\mathcal{O}		□ ● 地図学(2)		
第二欄	指導		□ ④ 人文地理学 I (2) 2 単位		
	法		□ ④ 人文地理学Ⅱ(2) 選択必修		
	に関		□ 人文地理学基礎演習(2)		
	す		□ 自然地理学基礎演習(2)		
	る科	人文地理学・自然地理学	□ ⑤ 自然地理学 I (2)		
	目		□ ⑤ 自然地理学Ⅱ(2) 選択必修		
			□ 地理学演習 I (2)		
			□ 地理学演習 II (2)		
			□ 地理学演習Ⅲ(2)		
			□ 地理学演習IV(2)		
			□ 地理学巡検 I (1)		
			□ 地理学巡検 II (1)		
		地誌	□ ● 地誌学(2)		
		教科の指導法	□ ● 中等社会・地理歴史科授業構成論(2)		
			□ ● 地理歴史科教育法(2)		
	教養教		iたすことにより,卒業時に教員免許状が授与されます。) municationA又はB」2単位,「データサイエンス基礎」2単位,「法と [いる。	社会B」	2 単位,
	全ての	の必修・選択必修科目を修得し	、ていること。 第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上で	<u>:あること</u>	. 0
		:どの後ろにある()内数字 :付している科目は必修科目と			
Γ	1-5)」を付している科目は,同一	番号内から選択必修とする。		
		字期初め(1年前期除く)に1 「教育実習手引」に綴り、大	履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し,確認を得ること。 切に保管すること。		
			る一般的包括的内容を含む科目である。		
			指道 教昌確認欄		

4年 前期

3年 後期 4年 後期

2年 前期

1年 後期 2年 後期 3年 前期

高等学校教諭一種免許状(公民)

第一欄	2017	教科及び教職に関する科目		3∓: / 	正.但.是
第一欄	科目区分		科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容 (チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
		教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	育の				
	の 基	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ (発達教育総論) (2)		
	礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的 理 解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	12		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関、	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	する	又は経営的事項(学校と地域	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科	との連携及び学校安全への対			
	Ħ	応を含む。)	生涯学習論(2)		
			□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道び徳	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	生,	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	徒総 指合	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
	道的				
第四欄	教学 育習		□ ● 教育におけるICT活用(1)		
	相の談時	生徒指導の理論及び方法			
	等間	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	な指る導	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
		連講及 の分伝	□ ● 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1)		
	教 育		※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって あてることができる		
	実		教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, サルナダ オグルギャ (オン・パン・スケバー・アンドナマ		
	践	教育実習	し事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 J 特別支援(中学校) 「教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 ¬		
第五欄	に		数		
NA TE IM	関す		数月天日(十)(2)*44年が十子校天日 特別支援(小学校) 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習		
	り る		□ 学校生活体験実習 I (1)		
	科		□ 研究教育実習(2)		
	目		□ 学校教育支援実習(4)		
		教職実践演習	□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
		秋	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) □ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
		<u> </u>	□ 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	-	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
1814			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習II (1) * 4年次		1
			□ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

「教」		午取得チェックシート」 学部学校教育教員養成課程初等	(24P学生用) 高等学校教諭一種免許場 中等教育専攻・特別支援教育専攻	犬 (公臣	民)
第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
>14 140	科目区	各科目に含めることが必要な事項		нт ірш	10113 1
			□ ● 法学慨論(2)		
			□ ● 政治学概論(2)		
			□ ● 国際法(2)		
		「法律学(国際法を含	□ ● 国際政治学(2)		
		む。)、政治学(国際政治を含む。)」	□ 政治学演習 I (2)		
	教	古む。)」	□ 政治学演習 II (2)		
	科		□ 政治学演習Ⅲ(2)		
	及び		□ 政治学演習 IV (2)		
	教		□ 政治学特殊講義(2)		
	科の		□ 経済学概論(2)		
<i>/</i> -/	110	「社会学、経済学(国際経済 を含む。)」	□ ● 社会学 I (2)		
第二欄	一等		□ ● 社会学 II (2)		
	法に		□ ● 国際経済学(2)		
	関		□ 社会学特殊講義(2)		
	する		□ 社会学演習 I (2)		
	科		□ 社会学演習 II (2)		
	目		□ 社会学演習Ⅲ(2)	·	
			□ 社会学演習IV (2)		
		「哲学、倫理学、宗教学、心	□ ● 哲学 I (2)		
		理学」	□ ● 哲学 II (2)		
		各教科の指導法(情報機器及	□ ● 中等社会・公民科授業構成論(2)		
		び教材の活用を含む。)	□ ● 公民科教育法(2)		
	】教養 「運 <u>全て</u>	教育科目より,「English Comm 動と健康B」2単位を修得して の必修・選択必修科目を修得し	たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。) unicationA又はB」2単位、「データサイエンス基礎」2単位、「法とれいる。 ていること。第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上で		
		などの後ろにある() 内数字に と付している科目は必修科目とす			
	[①, (2	②」を付している科目は,同一都			

- 注3 本紙は、**学期初め(1年前期除く)に「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。** 注4 本紙は、「教育実習手引」に綴り、大切に保管すること。 注5 太字の科目は、教育職員免許法で定める一般的包括的内容を含む科目である。

指導教員確認欄

1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	
			,,,	04//4			

中学校教諭一種免許状 (数学)

第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
>14 IN	科目区分		TITE (TEM)	нтірц	-10,10,1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	101	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論)(2)		
	基	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
	礎 的				
第三欄	理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論Ⅱ(2) 2 単位選択必修		
	うる	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法			
		(カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道 徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,導総	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	,合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的 育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	相学の対	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
	に時 関間	生徒指導の理論及び方法			
	科指	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	及	教育相談 (カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。) の	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	び	理論及び方法	C 数本中羽(中)(4) 40年为中学校中羽		
	教		□② 【教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 】中学校コース, 特別支援(中学校)		
	育		▼ 数		
	実践	教育実習	□ ② 教育実習 (中) (2) *4年次中学校実習		
tata 188	成に	教育 关目	■ 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習		
第五欄	関		□ 学校生活体験実習 I (1)		
	すっ		□ 研究教育実習(2) □ 学校教育支援実習(4)		
	る科		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	1	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
第六欄	_	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
ン/1/ ・ 11附		、」M WALLICHARL 7 VM H	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

中学校教諭一種免許状 (数学)

第一欄		教科及び教職に関		1 1 1 1 1 1 1 1	14 4 7 14 77	1 <u>人及教育寺</u> 科目	2 名(単位数)			評価	取得年
<i>5</i> 17 11₹	科目区分	各科目に含めること	が必要な事項				口(平仏教	,			門川	以1寸十
					線形代数概詞							
					数論入門(2)							
		代数学			群論入門(2)							
					代数学 I (2)							
	*				代数学Ⅱ(2)							
	中				変換と幾何	学(2)						
	学校教				微分幾何学力	入門(2)						
	二科	幾何学			位相数学入門	月(2)						
	種及のび				幾何学 I (2)							
	場教				幾何学Ⅱ(2)							
	合科				論理・集合	• 写像(2)						
teta . Irr	はの , 指				微分積分概認	淪(2)						
第二欄	太導	解析学			偏微分・重和	責分(2)						
	字法のに				解析学 I (2)							
	科関				解析学Ⅱ(2)							
	目す				確率・統計							
	を る 必科				統計学(2)	· · · · · ·						
	修目	「確率論、統計等	学」		応用数学 I((2)						
	とす				応用数学Ⅱ(
	る	コンピュータ			情報数学(2)							
		· • • · · ·			数学科教育》							
		各教科の指導法	/ 桂邦 松 및 77	_	数学科授業計							
		谷教科の指导伝 び教材の活用を含		`	数学科教材詞							
					数学科教育力							
最終チ	ェック	(以下のチェック)	項目を全て流				免許状が授	与されまっ	F.)			
] 教養教	女育科目より, 「」	English Com	municat						, 「法と	社会B」:	2 単位,
Г		かと健康B」2単 の必修・選択必修			テレ 第一編	動から笙六欄	までの修得	単位の合調	汁が59単	自位 以上で	「あること	
注1 🚶	斗目名な	どの後ろにある	() 内数字	は単位数	数である。		X C V IV II	十匹。7日日	18.004		. 67 0 0 0	0
注2	●」を 「① の	付している科目に 」を付している和	は必修科目と 4月は 同一	する。 ·番号内+	から選択必修	レすス						
注3 🧵	本紙は,	学期初め(1年前	期除く)に	「履修単位	位数確認届」		教員へ提出	し、確認さ	を得ること	<u>L</u> .		
		「教育実習手引」 目(「各教科の打				辻で定める-	- 船的与长6	内内突た今	は利日で	ある		
住り /	八十 ツ 付	ロ (「台教作の打	3等伍」以外	7 / / 4, 至		<u>伝でためる-</u> 教員確認欄	川又ロソ 己打白日	<u> </u>	WATE C	<i>α)′</i> √√0°		
					1 437 *			1		Ī		
1年 後期		2年 前期	2年 後期		3年 前期	3年 後期		4 年 前期		4年 後期		

高等学校教諭一種免許状 (数学)

	拟 月,	一种子区数月数县度/从帐往/// · ·	等数自等久 和加入版数自等久		ı
第一欄	科目区分	教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容 (チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	教	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の基	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ (発達教育総論) (2)		
	礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的 理 解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関す	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	る	との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論III(2) J		
	科 目	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	, .	が大型(1 o 立をサン))(2 上 o 上)	□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道び徳	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	生,徒総	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	指合導的	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	, な	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
对口侧		生徒指導の理論及び方法			
	等間	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	す指る導	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
第五欄	教育実	教育実習	■ 教育実習 (高) (2) 事前・事後指導 (高) (1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって あてることができる		
	Н	教職実践演習	□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ◆ 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ 介護等体験実習(1) □ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コノホレーション演習 I (1) * 1年(N) □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	-	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
>14 × 1144		THE TENTE ! DITTE	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次 □ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 担徳の歴史と万伝(2) □ 教育実践の最新動向(2)		

高等学校教諭一種免許状 (数学)

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻

第一欄		教科及び教職に関す	る科目		1		科目名	(畄冶粉)				評価	取得年
יווי קדע	科目区分	各科目に含めることな	が必要な事項				11 11 11	(千匹奴)				рТІЩ	以行子
					線形代数	(概論(2)							
					数論入門	(2)							
		代数学			群論入門	(2)							
					代数学 I	(2)							
					代数学Ⅱ	(2)							
					変換と幾	何学(2)							
	教				微分幾何	学入門(2))						
	科	幾何学			位相数学	入門(2)							
	及 び				幾何学 I	(2)							
	教				幾何学Ⅱ	(2)							
	科				論理・集	合・写像	(2)						
	の指				微分積分	概論(2)							
第二欄	導	解析学			偏微分・	重積分(2))						
	法に				解析学 I								
	関				解析学Ⅱ								
	す					· 計入門(2)						
	る 科				統計学(2		,						
	目	「確率論、統計学	2		応用数学								
					応用数学								
		コンピュータ			情報数学								
					数学科教)					
					数字科授数学科授			₩ €L 0)指導法				
		教科の指導法											
					数学科教		(0)	4 単位	Z選択必修	<i>-</i>			
是级工		 (以下のチェック項	5日 た仝て港			育方法論	_	<u>)</u> いH:が揺り	ナカキラ	h)			
	〕教養教	教育科目より,「E	nglish Comm	unicat							, 「法と	社会B」:	2 単位,
Г	「運動	助と健康B」2単位 D必修・選択必修和	なを修得して	いる。	ァレ 笠	一個みたる	女士 脚 まっ	の仮犯当	台位の会員	ナジ と 〇 片	4台ロ レッ	s セ フ ァ し	
l 注1	斗目名な	どの後ろにある(カラン カ数字に	は単位数	<u>こ。</u> 数である。	<u> </u>	カハ側 よく	び修行事	<u> - 117.02.日.</u> 日	111111111111111111111111111111111111111	型业以上(1000 C C	0
注2		付している科目は			な、と 1884日 6	りゆしナフ							
注3 >)」を付している科 学期初め(1年前 身						へ提出し	. 確認?	を得ること	- 0		
注4 7	体紙は,	「教育実習手引」	に綴り,大切	刃に保管	管すること	L 0							
<u> </u>	(子の村	·目は,教育職員免	計仏で正める	も一般日				る。					
1		.		1	J i	自導教員 確	記憶	1		-			
1年 後期		2年 前期	2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期		

中学校教諭一種免許状 (理科)

第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
>14 IN	科目区分		TITE (TEM)	нтірц	-10,10,1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	101	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論)(2)		
	基	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
	礎 的				
第三欄	理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論Ⅱ(2) 2 単位選択必修		
	うる	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法			
		(カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道 徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,導総	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	,合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的 育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	相学の対	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
	に時 関間	生徒指導の理論及び方法			
	科指	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	及	教育相談 (カウンセリングに関 する基礎的な知識を含む。) の	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	び	理論及び方法	C 数本中羽(中)(4) 40年为中学校中羽		
	教		□② 【教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 】中学校コース, 特別支援(中学校)		
	育		▼ 数		
	実践	教育実習	□ ② 教育実習 (中) (2) *4年次中学校実習		
tata 188	成に	教育 关目	■ 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習		
第五欄	関		□ 学校生活体験実習 I (1)		
	すっ		□ 研究教育実習(2) □ 学校教育支援実習(4)		
	る科		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	1	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
第六欄	_	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
ン/1/ ・ 11附		、」M WALLICHARL 7 VM H	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

中学校教諭一種免許状 (理科)

第一相	N ALLEY	教科及び教						科目名	(単位数))			評価	取得年
	科目区分	各科目(こ含めることが	必要な事項		基礎物理	学 (1)							
						基礎物理								
		d/ ===== >\/				物理学概								
		物理学				物理学概								
						物理学 I								
						物理学Ⅱ								
						基礎化学								
						基礎化学								
		化学				化学概論								
						化学概論 化学 I (2								
						<u>化子I(2</u> 化学II(2								
						基礎生物								
	•					基礎生物								
	※ 中	生物学				生物学概								
	学					生物学概								
	校教					生物学 I								
	二科					基礎地学								
	種及	1.1 374				基礎地学								
	のび場教	地学				地学概論								
	合科					地学概論 地学 I (2								
	はの					基礎物理)						
第二相	,指					物理学実		,						
>1 v — 11	 太導 字法					物理学実								
	子伝のに					基礎化学	実験(2)							
	科関					化学実験								
	目す					化学実験								
	をる					化学実験		`						
	必科 修目					基礎生物 生物学実)						
	اع ا						験(1) 験法 I (1))						
	とす	物理学実際					験法Ⅱ(1)							
	る	生物学実際	腰・地字 ジャ	夫 騻		野外実習		<u> </u>						
						野外実習								
						野外実習								
						基礎地学								
						地学I実								
						地学Ⅱ実 地学実験								
						地学実験								
						地質巡検								
						地質巡検								
						理科教育	法 I (2)							
		各教科の技				理科教育								
		び教材の液	舌用を含む	ts。)		理科教材								
見切て	<i>h</i>	ハエのエ	カゴ西	ロナ.人テン		理科教材			ケルレスジャブー	トナルナン	h \			
		(以下のチ 対育科目よ										. 「法と	社会B」:	2. 単位
	「運動	カと健康 B	」 2 単位	を修得し	ている。									
)必修・選					二欄からタ	第六欄まで	での修得」	単位の合語	十が 5 9 🗓	単位以上で	ぎあること	0
		どの後ろんけしている				汝である。								
任. 乙		」を付して				から選択す	公修とする							
	本紙は,	学期初め(1年前期	除く)に	「履修単	位数確認	届」と共同		うへ提出	し. 確認を	を得ること	<u>노</u> 。		
		「教育実習						マムフ én	υ <u>ήγ</u> Απ.Αγ	市内のナク	·+ ·* □ ~	なって		
住 5	4.十9科	·目(「各教	タイナリノ 行る	手伝」 以外	ソルス、季		記計法で正 導教員 確		内心括的	アド谷を含	4件目(める。		
			Т				· 乔秋貝师	E DICATURA		T .		I		
1年		2年		2年		3年		3年		4年		4年		
後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
							ı	ı	1	1	I	1	I.	/

高等学校教諭一種免許状 (理科)

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 第一欄 取得年 科目名(単位数) 評価 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 \mathcal{O} □ ● 人間教育論 Ⅱ (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 礎 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I(2) ~ 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 応を含む。) 生涯学習論(2) 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) 目及道 総合的な探求の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) が徳 生, 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 徒 総 指合教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 導的 な情報通信技術を活用した教育 □ ● 教育におけるICT活用(1) 教学の理論及び方法 第四欄 育習 相の生徒指導の理論及び方法 談時 □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 等間進路指導及びキャリア教育の に等理論及び方法 関の す指教育相談(カウンセリングに関 る導する基礎的な知識を含む。)の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 科法 理論及び方法 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって 教 あてることができる 育 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, 実 し事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 J 特別支援 (中学校) 践 教育実習 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 第五欄 特別支援 (小学校) 関 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 す 学校生活体験実習 I(1) る 研究教育実習(2) 科 学校教育支援実習(4) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職実践演習 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) -- キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1)* 1年次 地域コラボレーション演習I (1)* 2年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ * 1年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 2年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 3年次 (1)地域コラボレーション演習Ⅱ * 4年次 (1)道徳の歴史と方法(2) 教育実践の最新動向(2)

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状 (理科) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 科目名(単位数) 第一欄 評価 取得年 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 □ ● 基礎物理学 II (2) 物理学概論 I (2) 物理学 物理学概論Ⅱ(2) 物理学 I (2) 物理学Ⅱ(2) □ ● 基礎化学 I (1) □ ● 基礎化学 II (2) 化学概論 I (2) 化学 化学概論Ⅱ(2) 化学 I (2) 化学Ⅱ(2) □ ● 基礎生物学 I(1) □ ● 基礎生物学 II (2) 生物学 生物学概論 I (2) 生物学概論 Ⅱ(2) 生物学 I (2) □ ● 基礎地学 I (1) 科 及 □ ● 基礎地学 II (2) び 地学 地学概論 I (2) 教 地学概論 Ⅱ(2) 科 地学 I (2) \mathcal{O} □ ● 基礎物理学実験(2) 指 第二欄 物理学実験(2) 導 物理学実験法(2) 法 □ ● 基礎化学実験(2) 13 化学実験(2) 関 化学実験法 I(1) す 化学実験法Ⅱ(1) る 科 □ ● 基礎生物学実験(2) \blacksquare 生物学実験(1) 生物学実験法 I(1) 物理学実験、化学実験、 生物学実験法Ⅱ(1) 生物学実験、地学実験 野外実習 I (1) 野外実習Ⅱ(1) 野外実習Ⅲ(1) □ ● 基礎地学実験(2) 地学 I 実験(1) 地学Ⅱ実験(1) 地学実験法 I(1) 地学実験法Ⅱ(1) 地質巡検 I(1) 地質巡検Ⅱ(1) □ ● 理科教育法 I (2) □ ● 理科教育法 II (2) 各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。) 理科教材方法論 I(2) **理科教材方法論Ⅱ(2) 最終チェック**(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)
□ 教養教育科目より、「English CommunicationA又はB」 2 単位、「データサイエンス基礎」 2 単位、「法と社会 B」 2 単位、 「運動と健康B」2単位を修得している。 全ての必修・選択必修科目を修得している。 第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上であること 科目名などの後ろにある() 内数字は単位数である。 注 1 注2 「●」を付している科目は必修科目とする。 「①」を付している科目は、同一番号内から選択必修とする。 本紙は、学期初め(1年前期除く)に「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。 本紙は, 「教育実習手引」に綴り、大切に保管すること。 注 5 太字の科目は、教育職員免許法で定める一般的包括的内容を含む科目である。 指導教員確認欄

3年

前期

3年

後期

4年

前期

4年

後期

2年

後期

2年

前期

1年 後期

中学校教諭一種免許状 (音楽)

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 取得年 科目名 (単位数) 評価 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 0 □ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 磁 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I (2) ~ に 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 生涯学習論(2) 応を含む。) 目 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) 道徳の理論及び指導法 □ ● 道徳の歴史と方法(2) 徒徳 総合的な学習の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) 導総 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 教的 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 育な 相学 情報通信技術を活用した教育 談習 □ ● 教育におけるICT活用(1) 第四欄 等の の理論及び方法 に時 生徒指導の理論及び方法 関間 す等 進路指導及びキャリア教育の □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) るの 科指 理論及び方法 日導 教育相談(カウンセリングに関 洪 及 する基礎的な知識を含む。) の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 75 理論及び方法 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース □ ② 【 事前・事後指導 (中) (1) *3年次中学校実習 教 特別支援 (中学校) 育 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース. 実 \square (2) 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 特別支援 (小学校) 教育実習 践 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 第五欄 学校生活体験実習 I(1) 関 研究教育実習(2) す 学校教育支援実習(4) る 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 科 教職実践演習 ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 目 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I * 1年次 (1) 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 * 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1) 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習 II (1)* 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ П (1)* 2年次 地域コラボレーション演習Ⅱ * 3年次 (1)П 地域コラボレーション演習Ⅱ * 4年次 (1)教育実践の最新動向(2)

第一欄	科目区分	教科及び教職に	関する科目	- 1 1	X 17 17 X	11/31/2012	科目名	(単位数)				評価	取得年
	和日区为	THI ICE OF	7 C C W 20 Q W 3 F R		ソルフェ	ージュ I	A (1)						
					ソルフェ	ージュ I	B (1)						
					ソルフェ	ージュⅢ	A (2)						
		ソルフェージ	ユ		ソルフェ	ージュⅢ	B (2)						
					ソルフェ	ージュⅢ	C (2)						
					ソルフェ	ージュⅢ	D (2)						
					歌唱(合	·唱および	日本の伝	統的な歌	ペ唱を含む) (1)			
					独唱 I (1)	-						
					独唱Ⅱ(1)							
		声楽(合唱及るな歌唱を含む。	び日本の伝統的		独唱ⅢA	(2)							
		な歌音を音む。	o /		独唱ⅢB	(2)							
					独唱ⅢC	(2)							
	※ 中				独唱ⅢD	(2)							
	学				合奏およ	び和楽器	(1)						
	校教				独奏およ	び伴奏(1)						
	二科種及				独奏 I (1)							
	のび				独奏Ⅱ(1)							
	場教 合科				独奏ⅢA	(2)							
	はの	器楽(合奏及)	び伴奏並びに和		独奏ⅢB	(2)							
第二欄	, 指 太導	楽器を含む。))		独奏ⅢC	(2)							
	字法				独奏ⅢD	(2)							
	のに 科関				独奏IVA	(2)							
	目す				独奏IVB	(2)							
	をる必科				独奏IVC	(2)							
	修目				独奏IVD	(2)							
	とす	指揮法			指揮法(1)							
	3				作曲法 I	(編曲法	を含む)	(2)					
					作曲法Ⅱ	(2)							
					音楽理論	i I (2)							
			曲法(編曲法を		音楽理論	II (2)							
			楽史(日本の伝 民族の音楽を含		音楽史(日本の伝	統音楽及	び民族音	i楽を含む) (2)			
		む。)			音楽学 I	(2)							
					音楽学Ⅱ	(2)							
					音楽学Ⅲ	(2)							
					音楽学IV	(2)							
					音楽科教	育法 I (2	2)						
			法 (情報機器及		音楽科教	育法Ⅱ(2)						
		び教材の活用	を含む。)		音楽科教	育法Ⅲ(2)						
					音楽科教								
	教養物	教育科目より, 動と健康B」2	ク項目を全て満 「English Comm 単位を修得して	nunica いる。	tionA又は	(B) 2単化	立, 「デ [、]	ータサイン	エンス基礎	整」2単			
主1 科	目名な	どの後ろにある	修科目を修得し る()内数字	は単位	<u>」こと。</u> 数である	<u>→ 1関/13 り</u> ○	おハ懶は	、この修有		#T//> 5 €	* 早世以上	_ じめるこ	_ C o
主2 「	●」を	付している科	目は必修科目と る科目は、同一	する。			ス						
主3 本	紙は,	学期初め(1年	<u> F前期除く)に「</u>	履修単	位数確認	届」と共	ਹ。 :に指導教	(員へ提出	1し. 確認	<u>を得る</u> こ	<u>- と</u> 。		
主4 本	紙は,	「教育実習手	引」に綴り,大	切に保	管するこ	と。							
主5 太	<u>ナ</u> の科	日 「合教科(の指導法」以外) (よ,		<u>免許法で</u> 導教員確		放的包括	<u>別円谷を</u>	307科目	<u> </u>		
		- 1:	,										/
1年 後期		2年	2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年前期		4年		

高等学校教諭一種免許状(音楽)

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 取得年 科目名 (単位数) 評価 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) 応を含む。) |□ ● 人間教育論Ⅰ(教育の理念と歴史)(2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 0 □ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 磁 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I (2) ~ に 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 生涯学習論(2) 応を含む。) 目 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) ^{目及道}総合的な探求の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) び徳 生, 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 徒総 指合教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 導的 な情報通信技術を活用した教育 □ ● 教育におけるICT活用(1) 教学の理論及び方法 第四欄 育習 相の生徒指導の理論及び方法 談時 □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 等間進路指導及びキャリア教育の に等理論及び方法 す指教育相談(カウンセリングに関 ろ道 する基礎的な知識を含む。) の □ ● 教育相談の理論と方法(2) 科法理論及び方法 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については,以下のいずれかの単位をもって 教 あてることができる 育 ┌教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース 実 → 特別支援(中学校) ▶事前・事後指導(中)(1) *3年次中学校実習 教育実習 践 ▼教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, に 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 第五欄 特別支援 (小学校) 関 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 す 学校生活体験実習 I(1) る 研究教育実習(2) 科 学校教育支援実習(4) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 教職実践演習 □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) ー キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 2年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ (1)* 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ (1) * 2年次 地域コラボレーション演習Ⅱ (1) * 3年次 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 4年次 道徳の歴史と方法(2) 教育実践の最新動向(2)

高等学校教諭一種免許状(音楽) 「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 評価 取得年 科目名 (単位数) 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 □ ● ソルフェージュ I A (1) □ ● ソルフェージュ I B (1) ソルフェージュ**Ⅲ** A(2) ソルフェージュ П ソルフェージュ**Ⅲ** B(2) ソルフェージュ $\coprod C(2)$ ソルフェージュ**Ⅲ** D(2) □ ● 歌唱(合唱および日本の伝統的な歌唱を含む)(1) □ ● 独唱 I (1) □ ● 独唱Ⅱ(1) 声楽(合唱及び日本の伝統的 П 独唱ⅢA(2) な歌唱を含む。) 独唱ⅢB(2) 独唱ⅢC(2) 独唱III D (2) □ ● 合奏および和楽器(1) □ ● 独奏および伴奏(1) 科 □ ● 独奏 I (1) 及 び □ ● 独奏Ⅱ(1) 教 独奏ⅢA(2) 科 \mathcal{O} 独奏ⅢB(2) 器楽(合奏及び伴奏並びに和 指 楽器を含む。) 第二欄 独奏ⅢC(2) 獐 法 独奏**Ⅲ** D(2) に 独奏IVA(2) 関 独奏IVB(2) す る 独奏IV C (2) 科 独奏IVD(2) 目 指揮法 □ ● 指揮法(1) □ ● 作曲法 I (編曲法を含む)(2) 作曲法Ⅱ(2) □ ● 音楽理論 I (2) 音楽理論・作曲法(編曲法を □ ● 音楽理論 II (2) 含む。)・音楽史(日本の伝 □ ● 音楽史(日本の伝統音楽及び民族音楽を含む)(2) 統音楽及び諸民族の音楽を含 tr.) □ ● 音楽学 I (2) 音楽学Ⅱ(2) 音楽学Ⅲ(2) 音楽学IV(2) □ ② 音楽科教育法 I (2) 教科の指導法 □ ② 音楽科教育法 II (2) 各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。) □②音楽科教育法Ⅲ(2) 4 単位選択必修 □ ② 音楽科教育法IV(2) **最終チェック**(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。) □ 教養教育科目より、「English CommunicationA又はB」2単位、「データサイエンス基礎」2単位、「法と社会B」2単位、「運動と健康B」2単位を修得している。 全ての必修・選択必修科目を修得している 第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上であること 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。 「●」を付している科目は必修科目とする 注2 を付している科目は、同一番号内から選択必修とする。 本紙は、学期初め(1年前期除く)に「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。 注3 本紙は, 「教育実習手引」に綴り, 大切に保管すること。 太字の科目は, 教育職員免許法で定める一般的包括的内容を含む科目である 注4 本紙は, 注5 指導教員確認欄 4年 1年 2年 2年 3年 3年 4年

後期

前期

後期

前期

後期

前期

後期

中学校教諭一種免許状 (美術)

第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
牙 1	科目区分			計刊Щ	双行十
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	±4.4-	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ (発達教育総論) (2)		
	基礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的 理 解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関 す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	る	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) J		
	科 目	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	Н		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,導総	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	,合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	相談等に	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用 (1)		
	関間	生徒指導の理論及び方法			
	する 料 目	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	法及	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
第五欄	に関	教育実習	□② 【教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 学校生活体験実習 I(1) □ 研究教育実習(2)		
	する		□ 学校教育支援実習(4)		
	科	松叶小小	□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	目	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) □ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	7	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

第一村	科目区分	1	数職に関す に含めることか				;	科目名	(単位数)				評価	取得年
	11.1.2.2	2111		22072		素描(1)	* 1年	前期						
						素描(1)		前期						
						絵画基礎(2)		.,,,,						
						絵画 I (1)	* 2年	前期						
						絵画 I (1)	<u> </u>	送期						
		終画 (映	働メディ	ア表現を含		絵画Ⅱ(2)	-	前期						
		む。)	豚アノイ	ノ私先で日		絵画Ⅱ(2)	* 3年							
						絵画Ⅱ(2)		前期						
						版画(1)		 E前期						
						版画(1)		-後期						
	*					版画(1)		前期						
	中					版画(1)		後期						
	学 校教					彫刻基礎(2)								
	二科					彫刻 I (1)	* 2年	前期						
	種及					彫刻 I (1)	* 2年	-後期						
	のび場教	彫刻				彫刻Ⅱ(2)	* 3年	前期						
	合科					彫刻Ⅱ(2)	* 3年	後期						
<i>₩</i> → 1	はの ₃ ,指					彫刻Ⅱ(2)	* 4年	前期						
第二村	太導					デザイン基礎	<u>ŧ</u> (2)							
	字法のに					デザイン I (1	」)* 2年	三前期						
	科関	デザイン	(映像メ	ディア表現		デザイン I (1	」)* 2年	後期						
	目す をる	を含む。				デザイン Ⅱ (2	2) * 3年	前期						
	必科					デザインⅡ(2	2) * 3年	後期						
	修目					デザインⅡ(2	2) * 4年	前期						
	とす					工芸基礎(1)	* 2年	三前期						
	る	工芸				工芸基礎(1)	* 2年	後期						
						工芸史(2)								
						美術史基礎(2	2)							
		美術理論	・美術史	(鑑賞並び		美術史 I (2)								
				及びアジア		美術史Ⅱ(2)	* 3年	前期						
		の美術を	古む。)			美術史Ⅱ(2)	* 3年	後期						
						美術史Ⅱ(2)	* 4年	前期						
						美術科教育法	(2)							
				情報機器及		美術科授業研	「究(2)							
		び教材の	活用を含	む。)		美術科教育法	演習 I	(2)						
= 45 -		(0)) ==T			美術科教育法			4. Ib 201= 1	- (-)				
最終ナ	·ェック □ 教養教	(以下のテ 教育科目よ	エツクリ い、「Eng	目を全て満glish Commu	たすこ nicati	とにより,卒 onA又はB」2	棄時に₹ 単位,	教貝免記 データ	件状か授与 サイエン	ょされます ス基礎」	「。) 2単位,	「法と社会	B 2単	i位,
	「運動	助と健康₿	3 」 2 単位	を修得して	いる。									
				<u>P目を修得し</u>)内数字(<u>科目の総修得</u> 数である。	<u> 早世级</u>	い教養権	日を除る	e, 59E	型以以上で	こめること	. 0	
	「●」を	付してい	る科目は	必修科目と	する。	-	しナッ							
注3	本紙は,	学期初め	(1年前其	#除く)に「	履修単位	から選択必修 & 位数確認届」		<u>指導教</u>	員へ提出 し	<u>」.確認</u> ?	<u>を得るこ</u> と	<u>۲</u> 。		
注4	本紙は,	「教育実	習手引」	に綴り、大気	刃に保管	音すること。								
仕り	△子⑺科	·日(「谷	双件の指:	等仏」以外)	7人, 孝	<u>教育職員免許</u> 指導	<u> </u>		对心括的	川谷を含	47件目で	める。		
							>< RE (M	r- 1974						
1年 後期		2年 前期		2年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期		
10/1/1		11.1 7.71		1~793		14.4 / 94		~/yJ		11.17.11		100 /91		

高等学校教諭一種免許状 (美術)

松 期	10(1)	教科及び教職に関する科目	到日夕 (光片 水)	≑π' /π'	斯 伊 左
第一欄	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
		教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教	る歴史及び思想			
	育	が歴文人の心心	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の基	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ(発達教育総論)(2)		
	礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	すっ	又は経営的事項(学校と地域	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	る	との連携及び学校安全への対			
	科目	応を含む。)	生涯学習論(2)		
	П		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	O. 1957	特別活動の指導法	□ ◆ 特別活動(2)		
	往 終	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
	道的		□ → 秋月 <i>月</i> (Δ)		
第四欄		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用(1)		
NA III IN		生徒指導の理論及び方法			
	等間	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	な指る導	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
			□ ▲ 教育実習(高)(2)		
第五欄	に関する科	教育実習	■ 報告表目 (同) (2) 事前・事後指導 (高) (1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもってあてることができる		
	目		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
		教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
	_		↑ 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習Ⅱ(1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
第六欄	- 7	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

高等学校教諭一種免許状 (美術)

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻

第一	欄	目区分	教科及び教職に関する科 各科目に含めることが必要な:			科目名	(単位数)				評価	取得年
			111111111111111111111111111111111111111		□ ● 素描(1)	* 1年前期						
					□ ● 素描(1)							
					□ ● 絵画基							
				-	 □ ● 絵画 I							
				-								
			絵画(映像メディア表:	-	□ ② 絵画 Ⅱ		<u> </u>					
			松岡(吹像グノイノ衣・む。)		□ ② 絵画Ⅱ							
				-	□ ② 絵画Ⅱ							
				_	□ ② 版画(1)							
				-	□ ② 版画(1)							
				-	□ ② 版画(1)							
		教		-	□ ② 版画(1)							
		科及			□●彫刻基	, , , , , ,	選択科	·目のうち,				
		び		_				<u> </u>				
		教		-				. ,				
		科の	彫刻	_								
第二	欄	指		-								
		導 法		_								
		に										
		関す				ン I (1) * 2年前期						
		る	デザイン(映像メディ	<u> </u>		ン I (1) * 2年後期						
		科目	を含む。)	/ 1/ /		ンⅡ(2) * 3年前期						
		Н		_		ンⅡ(2) * 3年後期						
				_		ンⅡ(2) * 4年前期						
		•										
			美術理論・美術史(鑑)	-	□ ● 美術史							
			天州 壁論・天州史(鑑)に日本の伝統美術及び	. 貝 亚 ∪ . ⊢	□ ② 美術史							
			の美術を含む。)	_	□ ② 美術史							
						11 (4) * 3 十 仮別						
				[□ ② 美術史							
						Ⅱ(2) *4年前期] 					
				[□ ② 美術史	Ⅱ(2) * 4年前期 教育法(2)	教科()指導法				
			各教科の指導法(情報) び教材の活用を含む。)	機器及[□ ② 美術史 □ ③ 美術科 □ ③ 美術科	Ⅱ(2) * 4年前期 教育法(2))指導法	*			
				機器及 [) [□ ② 美術史 □ ③ 美術科: □ ③ 美術科: □ ③ 美術科:	II(2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2)			答			
最終す	チェッ	ノク	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を	機器及 [) [·全て満た	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □3・大術科 □3・大術科	II(2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 II(2) 0, 卒業時に教員免	4単位	立選択必修	h.)		D. O.W.	
最終す	□ 教	效養教	び教材の活用を含む。)	機器及) 「 全て満た n Communi	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □3美術科 □3大術科 □3大術科	II(2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 II(2) 0, 卒業時に教員免	4単位	立選択必修	h.)	「法と社会	· ○ B 」 2 単	位,
	□ 参	数養教 「運動 とての	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 放育科目より,「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を	機器及) 「全で満た i Communi 等得してい が修得して	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □3美術科 □3大術科 □3たことにより cationA又は いること。	II(2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 II(2) の, 卒業時に教員免i B」 2 単位, 「データ	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」	ト。) 2単位,			
	□ 教□ 全科目	検養勢 「運動 全て 名な	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 対育科目より、「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 「	機器及 [] () () () () () () () () () (□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○の表別 □○の	II(2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I(2) 教育法演習 II(2) の, 卒業時に教員免i B」 2 単位, 「データ	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」	ト。) 2単位,			
注 1 注 2	□ 参□ 全科 「 ①	数「全名」), 養運でなを②	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 対育科目より、「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 付している科目は必修 , ③」を付している科	機器 及 てommuni に に に に に に に に に に に り と で し に り れ に り れ に り れ り れ り れ り れ り れ り れ り	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	II (2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I (2) 教育法演習 II (2) 教育法演習 II (2) り、卒業時に教員免記 B」 2 単位、「データ 第二欄から第六欄ま	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」 単位の合言	r。) 2単位, †が59単	単位以上で		
注1 注2 注3	□ □ 4 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □ 1 □	数「全名」),は 養重のなを②,	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 対育科目より、「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 付している科目は必修 、③」を付している科 学期初め(1年前期除く	機器 及 で Communi で 5得得字と 内科目は 「 履	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○の表により □ではいる。こと。 ○○である ○○である ○・番単位数確認	II (2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I (2) 教育法演習 II (2) 教育法演習 II (2) の, 卒業時に教員免記 B」 2 単位,「データ 第二欄から第六欄ま 。 。 選択必修とする。	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」 単位の合言	r。) 2単位, †が59単	単位以上で		
注1 注2 注3 注4	□ □ □ ■ □ □ ● □ ● □ ■ ■ □ ■ ■ □ ■ □ ■ □	数「 <u>全</u> 名」), はは,	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 対育科目より、「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 付している科目は必修 , ③」を付している科	機 器 及 で で で で で で し に り で し り り し し し し し し し し し し し し し し し	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	II (2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I (2) 教育法演習 II (2) 教育法演習 II (2) の, 卒業時に教員免記 B」 2 単位,「データ 第二欄から第六欄ま 。 。 選択必修とする。 図届」と共に指導教 と。 以内容を含む科目であ	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」 単位の合言	r。) 2単位, †が59単	単位以上で		
注1 注2 注3 注4	□ □ □ ■ □ □ ● □ ● □ ■ ■ □ ■ ■ □ ■ □ ■ □	数「 <u>全</u> 名」), はは,	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 放育科目より、「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 付している科目は必修 、③」を付している科 学期初め(1年前期除く 「教育実習手引」に綴	機 器 及 で で で で で で し に り で し り り し し し し し し し し し し し し し し し	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	II (2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I (2) 教育法演習 II (2) 教育法演習 II (2) の, 卒業時に教員免記 B」 2 単位,「データ 第二欄から第六欄ま 。 。 選択必修とする。 図届」と共に指導教 と。	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」 単位の合言	r。) 2単位, †が59単	単位以上で		
注1 注2 注3 注4	□ □ □ ■ □ □ ● □ ● □ ■ ■ □ ■ ■ □ ■ □ ■ □	数「 <u>全</u> 名」), はは,	び教材の活用を含む。) (以下のチェック項目を 女育科目より,「English かと健康B」2単位を修)必修・選択必修科目を どの後ろにある() 付している科目は必修 ,③」を付している科 学期初め(1年前期除く 「教育実習手引」に綴 目は,教育職員免許法	機 器 及 で で で で で で し に り で し り り し し し し し し し し し し し し し し し	□②美術史 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □③美術科 □○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	II (2) * 4年前期 教育法(2) 授業研究(2) 教育法演習 I (2) 教育法演習 II (2) 教育法演習 II (2) の, 卒業時に教員免記 B」 2 単位,「データ 第二欄から第六欄ま 。 。 選択必修とする。 図届」と共に指導教 と。 以内容を含む科目であ	4 単位	立選択必修 すされます ス基礎」 単位の合言	r。) 2単位, †が59単	単位以上で		

「教員免許取得チェックシート」 中学校教諭一種免許状(保健体育) (24P学生用) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 評価 取得年 科目名(単位数) 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 □ ● 教職入門(2) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) 教育の理念並びに教育に関す 教 る歴史及び思想 西洋の子どもと学校史(2) 育 \mathcal{O} □ ● 人間教育論 Ⅱ (発達教育総論) (2) 幼児、児童及び生徒の心身の 基 発達及び学習の過程 学習心理学(2) 礎 的 特別の支援を必要とする幼児、 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2) 理 児童及び生徒に対する理解 第三欄 解 □ ① 教育の社会制度論 I (2) 関 教育に関する社会的、制度的 □ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修 す 又は経営的事項(学校と地域 □ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) -る との連携及び学校安全への対 科 応を含む。) 生涯学習論(2) 教育行財政(2) 教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント □ ● 教育課程論(2) を含む。) 道徳の理論及び指導法 □ ● 道徳の歴史と方法(2) 徒徳 指, 総合的な学習の時間の指導法 □ ● 総合的な学習の時間の指導法(2) 導 総 特別活動の指導法 □ ● 特別活動(2) 合 教的 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 育な 相学 情報通信技術を活用した教育 談習 □ ● 教育におけるICT活用(1) の理論及び方法 第四欄 等の に時 生徒指導の理論及び方法 関間 す等 □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 進路指導及びキャリア教育の るの 科指 |理論及び方法 目導 教育相談(カウンセリングに関 洪 □ ● 教育相談の理論と方法(2) 及 する基礎的な知識を含む。)の び 理論及び方法 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース, □② 【 事前・事後指導 (中) (1) *3年次中学校実習 教 特別支援 (中学校) 育 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース, 実 \square (2) 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 特別支援 (小学校) 践 教育実習 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 第五欄 学校生活体験実習 I(1) 関 研究教育実習(2) す 学校教育支援実習(4) る 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 科 教職実践演習 □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) キャリアサポート実習Ⅱ(1) □ ● 地域コラボレーション演習 I (1)* 1年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 2年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 地域コラボレーション演習 I (1)* 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習Ⅱ (1)* 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ (1)* 2年次

地域コラボレーション演習Ⅱ

地域コラボレーション演習Ⅱ

教育実践の最新動向(2)

(1)

(1)

* 3年次

* 4年次

第一机	教科及び教職に関する科目			科目名(単位数)					評価	取得年			
/17 11	科目区分	各科目に含めること	が必要な事項									нтірц	-10,10,1
				基本実技	1 (体つ	くり運動	・器械運	動)(1)					
					基本実技 2	2 (陸上	競技・ダ	ンス) (1))				
					基本実技	3(バス	ケットボ	ール・バ	ドミント	ン) (1)			
				基本実技	4 (柔道	. 野外活	動)(1)						
				基本実技	5 (水泳	・スキー) (1)						
				基本実技 6	ら (バレ	ーボール	・ソフトフ	ボール)	(1)				
		体育実技			基本実技7	,			, ,	<u> </u>			
					応用実技1	-							
					応用実技2		運動) (1						
					応用実技3)					
	*				応用実技 4								
	中学				応用実技 5	-							
	校教			応用実技 6) (1)						
第二欄	二科			応用実技7	7 (柔道) (1)							
	種及のび				応用実技 8	3(ダン	ス) (1)						
	場教				応用実技 9) (スキ	一) (1)						
	合科はの			体育学 1 (体育原理	里・体育社	1会学)(2))					
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)		体育学2(体育心理	里学・測定	三評価)(2)						
	人导			体育学3(体育史・	体育経営	常管理学)((2)					
	字法のに			体育学演習	₹(2)								
	科関			スポーツ』	-	2)							
	目す			スポーツ道									
	をる必科	生理学(運動生理学を含む。)			生理学・道								
	修目			トレーニン									
	٢		_				\						
	する			生理学・道				0- 10	- 10 ···	.) (0)			
				スポーツ圏		ホーツ医	子, アダフ	アッド・	スホーツ) (2)			
					保健体育第	ミ験(1)							
					解剖学(2)								
		衛生学・公衆衛生学 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)			衛生学・グ	公衆衛生	学(2)						
				□ ● 学校保健(2)									
					学校保健演	寅習(2)							
					体育科教育	育法(2)							
		各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)			保健科教育	育法(2)							
				□ ● 体育科教育方法論(2)									
				□ ● 保健体育科実践 I (2)									
				□ ● 保健体育科実践 II (2)									
最終チ	ェック	 (以下のチェック項	頁目を全て満					午状が授与	ょされます	F。)			
1		教育科目より,「En			onA又はB」	2 単位,	「データ	サイエン	ス基礎」	2 単位,	「法と社会		位,
		助と健康B」2単位 D必修・選択必修和			こと。第一	.欄から?	第六欄まっ	での修得単	重位の合言	+が59単	単位以上で	あること	
注1	科目名な	:どの後ろにある(() 内数字/	は単位数	数である。	- IMV - 2	7137 1 IM OC	C 12 10 10 1		17 0 0 1			0
注2		付している科目は)」を付している科			から揺却か	修レナフ							
	本紙は,	学期初め(1年前	期除く)に「J	覆修単	位数確認届	」と共に		うへ提出し	. 確認?	を得ること	_ .		
		「教育実習手引」					→ み Z AF		内索かる		なて		
住 5	ヘナリ/科	・目(「各教科の指	守仏」以クトノ	۱J, ₹		計法で及 導教員 確		如心的	円分を占	47年日で	<i>め</i> る。		
					18-								
1年		2年	2年		3年		3年		4年		4年		
後期		前期	後期		前期		後期		前期		後期		

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 高等学校教諭一種免許状(保健体育) 教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 第一欄 教科及び教職に関する科目 科目名(単位数) 評価 取得年 教職の意義及び教員の役割・職

第一欄	科目区分	教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
	科日区万	教職の意義及び教員の役割・職			
第三欄		務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	1.1	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	〒の基礎的理解に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2)		
		発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
			口 于自心姓于(2)		
		特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
			□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
		教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2)2 単位選択必修		
		又は経営的事項(学校と地域	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
		との連携及び学校安全への対応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
			□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント	□ 教育課程論(2)		
	п т <i>У</i>	を含む。)			
	日及追び徳	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	生, 徒総	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
第四欄	指合導的	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論(2)		
	、教育相談等に関するな学習の時間等の指導	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
713 ET 1149		生徒指導の理論及び方法			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習	 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもってあてることができる 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習教育実習(小)(2)*3年次小学校実習教育実習(中)(2)*4年次中学校実習事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習学校生活体験実習I(1) 学校生活体験実習I(1) 研究教育実習(2) 学校教育支援実習(4) 		
	Ħ	教職実践演習	□ 教職キャリア基礎演習 (幼・小・中・高) (1) □ ◆ 教職実践演習 (幼・小・中・高) (2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
第六欄			□ 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)□ キャリアサポート実習 II (1)		
			□ • 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
	-	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
		THE TENTE ! WITH	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コノホレーション演音 II (1) *2 平 (1) □ 地域コラボレーション演習 II (1) *3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

高等学校教諭一種免許状(保健体育)

教育学部学校教育教員養成課程初等中等教育専攻・特別支援教育専攻 教科及び教職に関する科目 科目名 (単位数) 評価 取得年 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 □ ● 基本実技 1 (体つくり運動・器械運動)(1) □ ● 基本実技 2 (陸上競技・ダンス) (1) □ ● 基本実技3 (バスケットボール・バドミントン)(1) □ ● 基本実技4(柔道・野外活動)(1) □ ● 基本実技5 (水泳・スキー) (1) 基本実技6 (バレーボール・ソフトボール) (1) 基本実技7 (サッカー・剣道) (1) 応用実技1 (体つくり運動) (1) 体育実技 応用実技2 (器械運動)(1) 応用実技3(陸上競技)(1) 応用実技4(水泳)(1) 応用実技5 (バスケットボール) (1) 応用実技6 (バドミントン) (1) 教 科 応用実技7(柔道)(1) 及 応用実技8 (ダンス) (1) び 教 応用実技9 (スキー) (1) 科 □ ● 体育学 1 (体育原理・体育社会学)(2) \mathcal{O} □ ● 体育学 2 (体育心理学・測定評価)(2) 指 第二欄 「体育原理、体育心理学、体 道 育経営管理学、体育社会学, □ ● 体育学3(体育史・体育経営管理学)(2) 法 体育史」・運動学(運動方法 体育学演習(2) に 学を含む。) 関 □ ● スポーツ運動学(2) す スポーツ運動学演習(2) る 科 □ ● 生理学・運動生理学(2) トレーニング特論(2) 生理学・運動生理学演習(2) 生理学(運動生理学を含 む。) スポーツ医学(スポーツ医学,アダプテッド・スポーツ)(2) □ ● 保健体育実験(1) 解剖学(2) 衛生学·公衆衛生学 □ ● 衛生学·公衆衛生学(2) 学校保健(小児保健、精神保 □ ● 学校保健(2) 健、学校安全及び救急処置を 学校保健演習(2) 含む。) □ ② 体育科教育法(2) 教科の指導法 □ ② 保健科教育法(2) 各教科の指導法(情報機器及 4 単位選択必修 □② 体育科教育方法論(2) び教材の活用を含む。) □ ② 保健体育科実践 I (2) □ ② 保健体育科実践 II (2) **最終チェック**(以下のチェック項目を全て満たすことにより、卒業時に教員免許状が授与されます。)
□ 教養教育科目より、「English CommunicationA又はB」2単位、「データサイエンス基礎」2単位、「法と社会B」2単位、 「運動と健康B」2単位を修得している。 全ての必修・選択必修科目を修得していること。 第二欄から第六欄までの修得単位の合計が59単位以上であること 注 1 科目名などの後ろにある()内数字は単位数である。 「●」を付している科目は必修科目とする。 「①, ②」を付している科目は、同一番号内から選択必修とする。 本紙は、**学期初め(1年前期除く)に「履修単位数確認届」と共に指導教員へ提出し、確認を得ること。** 「教育実習手引」に綴り,大切に保管する、 注5 太字の科目は、教育職員免許法で定める一般的包括的内容を含む科目である。 指導教員確認欄 1年 2年 2年 3年 3年 4年 4年 後期 前期 後期 前期 後期 前期 後期

中学校教諭一種免許状 (技術)

左 期	教科及び教職に関する科目		到日友(光片米)	₹ ₩	15.21 左
第一欄	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名(単位数)	評価	取得年
第三欄	理解に関	教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
		教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
		る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
		幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論)(2)		
		発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
		特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
			□ ① 教育の社会制度論 I (2)]		
		教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
		又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
		応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
			□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	徒指導,教· 協合的:	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
		特別活動の指導法	□ ◆ 特別活動(2)		
		教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
	育な 相学		□ ₩ 17/1Δiii (2)		
第四欄	談等に関する科目習の時間等の指導法及	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用(1)		
		生徒指導の理論及び方法			
		進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
			□② 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース,		
	教 育		② 教育美智(中)(4)*3年次中学校美智 中学校コース, 事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習 特別支援(中学校)		
	実		教育美育 (小) (2) *3十八小子仪美育 小学校コース,		
	践	教育実習	数 表音 (中) (2) *4年次中学校美音 特別支援 (小学校) 事前・事後指導 (中) (1) *4年次中学校実習		
第五欄	に 関		□ 学校生活体験実習 I (1)		
	関 す		□ 研究教育実習(2)		
	る		□ 学校教育支援実習(4)		
	科目	教職実践演習	□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ◆ 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
	Ħ	秋枫天 成黄白	□ 教職キャリア発展演習 (幼・小・中・高) (1)		
			□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
第六欄			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
	7	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		<u> </u>
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

第一机	N 2007							科目名	(単位数)				評価	取得年								
	科日区分	合科日	に召めることが	かい 安 な 争 項		****	共術主 歴	(2)														
		本村加工技術基礎(2)																				
		おおいました	(宝翌な	今 ね。)			1X D (2)	/						2 単位,								
		40 41 WH T	(大日で	пъ., /			廿	(2)														
					=									2 単位,								
	*													2 単位,								
	中							<u>'</u>						2 単位,								
	校教																					
	A 11																					
		機械・電	気(実習	を含む。))																	
第二相	1 ,指																					
,,,	人 导													2 単位,								
	のに													」 2 単位,								
						電気技術	B (2)															
	をる					栽培技術	基礎(2)															
						栽培実習	I (1)															
		生物育成				栽培実習	II (1)							3」2単位,								
						栽培技術	A (2)							3」2単位,								
						栽培技術	B (2)							3」2単位,								
						情報技術	基礎(2)															
						情報技術	実習 I (1))														
		情報とコ	ンピュー	タ		情報技術	実習Ⅱ(1))														
						情報技術	A (2)															
						情報技術	B (2)															
						技術科教	育法 I (2)														
				情報機器	及 □ ●	技術科教	育法Ⅱ(2))														
		び教材の	活用を含	む。)		技術科教	育法Ⅲ(2))														
		/N/= = 4	}- ~T	= n + A			育法IV(2)		6.15.28 E	- (- 1 la '	1- \											
最終チ	ェック □ 教養剝	(以下のチ 女育科目よ	エックリ :り、「Eng	頁目を全て glish Com	満たすこ municati	とにより, onA又はB	→ 卒業時 → 2 単位.	こ教員免託 「データ	F状が授 <i>与</i> サイエン	すされます ス基礎」	「。) 2単位、	「法と社会	: B 2単	位.								
	「運動	カと健康B	」 2 単位	Zを修得し	ている。																	
				<u>†日を修侍</u>)内数 ²				おハ惻よ り	どの修侍与	単位の合語	†から9	<u> PШ以上(</u>	<u>:めること</u>	0								
注2	「●」を	付してい	る科目は	必修科目。	とする。	_																
	本紙は,	学期初め	(1年前期	目は,同- 明除く)に	「履修単位	<u> </u>	届」と共同	'。 C指導教員	へ提出し	し. 確認?	を得ること	<u>L</u> .										
注4 注5	本紙は,	「教育実活」	習手引」	に綴り, ラ 導法」以外	大切に保 私) /t #	音すること 数容職目を	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	かる一処	·的句坛的	 内突た今	·tp科目で	ある										
11.0	~] V/1T	<u>н ('Т</u>	☆ 人/[-] ヾノ] 目:	714] (4)	<i>া /</i> াঞ, বি		導教員確		(HD[(2] CH.)	N 144.5 口	UTIH C	UJ'JO										
1年		2年		2年		3年		3年		4年		4年										
後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期										
ı				1						Ī		Ī	ĺ	1/								

高等学校教諭一種免許状 (工業)

松 期	教科及び教職に関する科目		到日夕 (光片 水)	≑π' /π'	15.41 左
第一欄	科目区分	各科目に含めることが必要な事項	科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
		教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教	る歴史及び思想			
	育	が歴文人の心心	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の基	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ(発達教育総論)(2)		
	礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	すっ	又は経営的事項(学校と地域	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	る	との連携及び学校安全への対			
	科目	応を含む。)	生涯学習論(2)		
	П		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	O. 1957	特別活動の指導法	□ ◆ 特別活動(2)		
	往 終	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
	道的		□ → 秋月 <i>月</i> (Δ)		
第四欄		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用(1)		
分型作品		生徒指導の理論及び方法			
	等間	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	な指る導	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
			□ ▲ 教育実習(高)(2)		
第五欄	に関する科	教育実習	■ 報告表目 (同) (2) 事前・事後指導 (高) (1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもってあてることができる		
	目		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
		教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
	_		↑ 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習Ⅱ(1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
第六欄	- 7	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

高等学校教諭一種免許状(工業)

第一欄		教科及び教職に関する科目			科日夕	(単位数)	•	•		評価	取得年				
2/1 1州	科目区分	各科目に含めることが必要な事項				(十1年数)				нііш	4/101				
				木材加工技術											
				木材加工技術		}									
				木材加工技術	B (2)										
				木材加工実習	I (1)										
				木材加工実習	II (1)										
				製図(2)											
				金属加工技術	基礎(2)										
				金属加工技術	A (2)										
				金属加工技術	B (2)										
	教科			金属加工実習	I (1)										
	及			金属加工実習	II (1)										
	J.,			機械技術基礎	(2)										
	教 科	工業の関係科目		機械技術A(2)	選択和	4目のう	ō,							
	\mathcal{O}	工来の関係行口		機械技術B(2)	いずれ	いか 1 単作	立選択必修	:						
第二欄	指導			機械実習 I (1)										
	法			機械実習Ⅱ(1)										
	に 関			電気技術基礎	(2)										
	す			電気技術A(2)										
	る科			電気技術B(2)										
	目			電気実習 I (1)										
				電気実習Ⅱ(1)										
				情報技術基礎	(2)										
				情報技術A(2)										
				情報技術B(2)										
				情報技術実習	I (1)										
				情報技術実習	II (1))									
		職業指導		職業指導(2)											
		各教科の指導法(情報機	器及□●	工業科教育法	I (2)										
		び教材の活用を含む。)		工業科教育法											
		(以下のチェック項目を全 数育科目より, 「English							「法し	4AD I	の単位				
	「運動	カと健康B」2単位を修得	している。												
		D必修・選択必修科目を修 どの後ろにある()内			から第六欄まて	での修得単	単位の合詞	汁が59単	位以上で	ぎあること	• •				
注2	●」を	付している科目は必修科	目とする。												
		付している科目は、同一学期初め(1年前期除人)				これ 世山 !	7 李号列:	と組ょー し							
注4 本	紙は,	<u>学期初め(1年前期除く)</u> 「教育実習手引」に綴り,	大切に保管	管すること。			<u>」,惟認(</u>	<u>で 符 る </u>	⊾ 0						
注5 太	:字の科	·目は、教育職員免許法で	定める一般的	的包括的内容を		る。									
		<u> </u>		指導教 T	員確認欄						1				
1年		2年 2年		3年	3年		4年		4年						
後期		前期 後期		前期	後期		前期		後期						

中学校教諭一種免許状 (家庭)

第一欄	教科及び教職に関する科目		科目名(単位数)	評価	取得年
MJ IIM	科目区分		和自有(十匹奶)	нтіш	47 10 1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	.let	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論) (2)		
	基	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
	礎		口 于自心经于(2)		
第三欄	的 理 解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2)]		
	関す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論Ⅱ(2) 2単位選択必修		
	る	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対 応を含む。)	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科		□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法			
		(カリキュラム・マネジメントを含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道 徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,導総	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	,合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的 育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
第四欄	相学の事	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ● 教育におけるICT活用(1)		
	に時 関間	生徒指導の理論及び方法			
	する 科語	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	目導 法及び	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
		连冊及び分伝	□ □ ↑ 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 □ 中学校コース,		
	教		□② 事前・事後指導(中)(1)*3年次中学校実習		
	育実		教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース,		
	践	教育実習	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
第五欄	に		■ 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 ■ 学校生活体験実習 I(1)		
NATEUR	関		□ 研究教育実習(2)		
	する		□ 学校教育支援実習(4)		
	科		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	目	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習 II (1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	-	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

中学校教諭一種免許状 (家庭)

第一欄		教科及び教職に関する科目			科目名	(単位数)		評価	取得年		
277 118s	科目区分	各科目に含めることが必要な事項						н іш	松山十		
				● 家庭経営学 I	(家族関係学	及び家庭経済学を含む)(2)				
		家庭経営学(家族関係学)	をび 🗆	● 家庭経営学Ⅱ	(2)						
		家庭経済学を含む。)		家庭経営学Ⅲ	(2)						
				家庭経営学演	習(2)						
				● 被服学 I (被	服実習を含む。	,) (2)					
	*			被服学Ⅱ(2)							
	中	被服学(被服実習を含む。) 🗆	被服学Ⅲ(2)							
	学校教			● 被服学実験実	習 I (1)						
	二科										
	種及のび		2)								
	場教			食物学Ⅱ(2)							
	合科	食物学(栄養学、食品学) 調理実習を含む。)	をび <pre>口</pre>	食物学Ⅲ(2)							
<i>bb</i> → 100	±⊨			● 食物学実験実	習 I (1)						
第二欄	太導			● 食物学実験実	習Ⅱ(1)						
	字法のに			● 住居学 I (2)							
	科盟	A-0 24		● 住居学Ⅱ(2)							
	目す をる 住居学 □ 住居学 III (2)										
	必科			住居学演習(2	()						
	修目			● 保育学 I (2)							
	す	と									
	る	保育学		保育学Ⅲ(2)							
				保育学演習(2	()						
				● 家庭科教育法	i (2)						
		 各教科の指導法(情報機	是及 □	● 家庭科教育法	·Π (2)						
		び教材の活用を含む。)		● 家庭科教育法	·III (2)						
				● 家庭科教育法	(2)						
最終チ		(以下のチェック項目を全									
	】教養教 「渾重	数育科目より,「English C めと健康B」2単位を修得	ommunica している	tionA又はB」 2	単位,「データ [、]	サイエンス基礎」2単位、	「法と社会	≷B」2単	位,		
] 全ての	D必修・選択必修科目を修	导してい	ること。第二欄	から第六欄まて	での修得単位の合計が59	単位以上で	ぎあること			
		:どの後ろにある() 内勢付している科目は必修科[立数である。							
	$\lceil 0, \ 2 \rceil$)」を付している科目は, 「]一番号[
	×紙は, ×紙は,	学期初め(1年前期除く)」 「教育実習手引」に綴り、			と共に指導教員	<u>へ提出し、確認を得るこ</u>	<u>と</u> 。				
		「教育美百子別」に綴り, ·目(「各教科の指導法」」			<u> </u>	的包括的内容を含む科目で	である。				
					人員確認欄						
1 /-		0/5		0.5	0 F	4 7	4 F				
1年		2年 2年 2年 2年		3年	3年 後期	4年	4年				

高等学校教諭一種免許状 (家庭)

第一欄	科目区分	教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	-tr1.	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	\mathcal{O}	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ(発達教育総論)(2)		
	基礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的 理	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
, i.i.	解に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ┐		
	関	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	する	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科	との連携及び字仪女宝への対 応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道	総合的な探求の時間の指道法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	生,	特別活動の指導法	□ ◆ 特別活動(2)		
	徒 総	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論(2)		
第四欄	導的 , 教学	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用 (1)		
第四欄	育習相の	生徒指導の理論及び方法			
	談時 等間	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	対指る導	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
第五欄	教育実践に関する科	教育実習	■ 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって あてることができる		
	目	教職実践演習	□ 学校教育文接美智(4) 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 動職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
第六欄	大学が独自に設定する科目				
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次 □ 道徳の歴史と方法(2) □ 教育実践の最新動向(2)		

高等学校教諭一種免許状 (家庭)

第一欄	1	教科及び教職に関	する科目				科目名(単位数)			評価	取得年						
217 118	科目区分	各科目に含めるこ	とが必要な事項								н і іші	4X 10. 1						
				-			族関係学及	び家庭	経営学を含む)(2	2)								
		家庭経営学(家			家庭経営	学Ⅱ(2)												
		家庭経済学を含	む。)		家庭経営	学Ⅲ(2)												
					家庭経営													
					被服学 I	(被服実	習を含む。) (2)										
					被服学Ⅱ													
		被服学(被服実	習を含む。)		□ 被服学Ⅲ(2)													
	教				□ ● 被服学実験実習 I (1)													
	科				□ ● 被服学実験実習 II (1)													
	及び				食物学 I	(栄養学	、食品学及	び調理	実習を含む。)(2	2)								
	教				食物学Ⅱ	(2)												
	科		物学(栄養学、食品学及び □ 食物学Ⅲ(2)															
6-6 [B]	り指	四年天白を占む	o /		食物学実	験実習 I	(1)											
第二欄	導				食物学実		(1)											
	法に				住居学 I													
	関				住居学Ⅱ	(2)				(2)								
	すっ	住居学			住居学Ⅲ													
	る科				住居学演													
	目				保育学I													
					保育学Ⅱ													
		保育学			保育学Ⅲ													
				□ 保育学演習(2)														
						: 百 (2) :育法 I (2))	<u> </u>										
		各教科の指導法	(桂耙		•	(育法Ⅱ(2	*	数科 (
		び教材の活用を				(育法Ⅲ(2			X選択必修									
					•	:育法IV(2)	*	1 7 12										
最終チ	ェック	<u></u> (以下のチェック	項目を全て満	_				<u>」</u> 状が授与	·されます。)									
_	〕教養都	教育科目より,「E	English Commu	nicati					ス基礎」2単位,	「法と社会	ÈВ」 2 単	位,						
Г		動と健康B」2単 ひ必修・選択必修			こと。第	^一 .欄からき	第六欄まで	の修得単	単位の合計が59m	単位以上で	であること							
注1 利	斗目名な	どの後ろにある	() 内数字(は単位数		11.14 27	14	. 12 14 1	H H H	, , , , , , , , ,	, .							
		r付している科目()」を付している ⁵			から選択す	%修とする)											
注3 ス	<紙は,	学期初め(1年前	<u>が期除く)に「</u>	<u>覆修単</u>	位数確認	届」と共(へ提出し	<u>). 確認を得るこ</u>	<u>と</u> 。								
	ス紙は, マ字の彩	「教育実習手引 _. 目は,教育職員	」に綴り,大り 免許法で定め	辺に保育 ろ一般的	管すること 内包括的D	ご。 ∇ 宏 <i>を</i> 全 ま	2科目である	5										
	· 1 ^ / / [H 15; 3/ H 14(尺)	ACHILIA CALVA	ا <u>ک</u> لا/ س		導教員確		0										
1年 後期		2年 前期	2 年 後期		3年 前期		3年 後期		4年 前期	4年 後期								

中学校教諭一種免許状 (英語)

第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
NJ IIM	科目区分		和自有(十匹奶)	н і іші	4710 1
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	+//.	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	の	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論 II (発達教育総論)(2)		
	基	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
	礎		口 于自心生于(2)		
第三欄	的理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2) ¬		
	関土	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	する	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対 応を含む。)	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2)		
	科		□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法	1 4X11X1X(2)		
		(カリキュラム・マネジメントを含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	生道徒徳	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指,導総	総合的な学習の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	,合	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
	教的 育な	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論(2)		
第四欄	相学 談 等の	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用 (1)		
	に時 関間	生徒指導の理論及び方法			
	科指	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	及	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	び	理論及び方法	□ □ ↑ 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 □ 中学校コース,		
	教		□ ② 事前·事後指導(中)(1)*3年次中学校実習		
	育		教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 小学校コース,		
	実践	教育実習	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
第五欄	に		■ 事前・事後指導(中)(1)*4年次中学校実習 □ 学校生活体験実習 I(1)		
另	関		□ 学校生活体験実習 I (1) □ 研究教育実習 (2)		
	する		学校教育支援実習(4)		
	科		□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
	目	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ ● 介護等体験実習(1) □ 健康教育概論(2)		
			□		
			□ キャリアサポート実習 II (1)		
			□ ◆ 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄	5	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
		- · · - · · - · · · · · · · · · · · · ·	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

「教員免許取得チェックシート」 (24P学生用)

中学校教諭一種免許状 (英語)

教育学部学校教育教	4月 美 武	山垒数容亩份。	性则支择数吞重协
<i>変</i> X 日 一一司) 一一でX 変X 日 変		中 荣双 日 导火 •	

第一	欄	科目区分	教科及び教職に関する。 各科目に含めることが必要			科目名(単位数) 評価 取得年														
		村日区万	谷村日に古めることが必要	安 (4 争 4)		 英文法 I	(2)													
						英文法 II														
						英語学演														
						英語学演														
						英語学講														
						英語学講														
			英語学					(2)						評価 取得年						
							殊講義Ⅲ													
							殊講義IV													
		*				応用言語	学(2)													
		中				英語音声	学(2)													
		学 校教				英米文学	史 I (2)													
		二科				英米文学	史Ⅱ(2)													
		種及のび				英米文学	講読 I (2)												
		場教				英米文学	講読Ⅱ(2))												
		合科	英語文学			英米文学	演習 I (2))												
第二		,指	光			英米文学	演習Ⅱ(2)												
37—		太導字法			□ 英米文学特殊講義 I (2)															
		のに																		
		科関 目す	す サルカ学性の講義 (a)																	
		をる																		
		必科 修目				コミュニ			•											
		とす				コミュニ														
		する				□ ● コミュニケーション II A (2)□ コミュニケーション II B (2)														
			#*************************************	.																
			英語コミュニケーシ	ョン			ケーショ													
							ケーショ	УШВ (2))											
						英語作文														
						英語作文														
			異文化理解			英語作文 比較文化														
			共义化坯牌			英語科教														
			夕 料 们 の 松 岩 汁 (/ 唐 :	±n +00 ao 77		英語科授														
			各教科の指導法(情: び教材の活用を含む。			英語科教	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,													
						英語科教		(2)												
最終	チェ	ック	(以下のチェック項目	を全て清	あたすこ	とにより,	卒業時に	こ教員免託	午状が授与	ょされます	,)									
			女育科目より,「Engli かと健康B」2単位を			onA又はB	」 2 単位,	「データ	サイエン	ス基礎」 2	2単位,	「法と社会	₹B」2単	i位,						
		全ての)必修・選択必修科目	を修得し	ている	こと。第	二欄から賃	第六欄まで	での修得国	単位の合計	が 5 9 単	位以上で	ぎあること	0						
注 1 注 2			どの後ろにある() 付している科目は必ん			数である。														
·	Γ(1), 2	」を付している科目は	は, 同一	番号内方				2 <u>4</u> 48 11 1	765年7	/日フー!	_								
			学期初め(1 年前期隊 「教育実習手引」 にん					_ 哲學教員	へ提出し	<u>」、催認を</u>	付ること	_ •								
			目(「各教科の指導			教育職員免	色許法で定		的包括的	内容を含む	び科目で	ある。								
						措	導教員確	認欄			1			<u> </u>						
1年			2年	2年		3年		3年		4年		4年								
後期			前期	後期		前期		後期		前期		後期								

高等学校教諭一種免許状 (英語)

第一欄	科目区分	教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
		教職の意義及び教員の役割・職 務内容(チーム学校運営への対 応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	- //.	教育の理念並びに教育に関す	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	教 育	る歴史及び思想	□ 西洋の子どもと学校史(2)		
	\mathcal{O}	幼児、児童及び生徒の心身の	□ ● 人間教育論Ⅱ(発達教育総論)(2)		
	基礎	発達及び学習の過程	□ 学習心理学(2)		
第三欄	的理解	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(2)		
	に		□ ① 教育の社会制度論 I (2)]		
	関す	教育に関する社会的、制度的	□ ① 教育の社会制度論 II (2) 2 単位選択必修		
	る	又は経営的事項(学校と地域 との連携及び学校安全への対	□ ① 教育の社会制度論Ⅲ(2) 】		
	科	応を含む。)	□ 生涯学習論(2)		
	目		□ 教育行財政(2)		
		教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	目及道び徳	総合的な探求の時間の指導法	□ ● 総合的な学習の時間の指導法(2)		
	生,	特別活動の指導法	□ ● 特別活動(2)		
		教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論(2)		
// m 48		[++++++++++++++++++++++++++++++++++++	□ ● 教育におけるICT活用 (1)		
第四欄	相の	生徒指導の理論及び方法			
	談 等 間 に 関 の	進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	る導	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
第五欄	教育実践に関する	教育実習	● 教育実習(高)(2) 事前・事後指導(高)(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって あてることができる		
	科		□ 研究教育実習(2)		
	目		□ 学校教育支援実習(4) □ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1)		
		教職実践演習	□ ◆ 教職実践演習(幼・小・中・高)(2)		
			□ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
			□ 介護等体験実習(1) □ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習Ⅱ(1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
左		L 学ぶが 白 ステーテル 会よっ 幻 ロ	□ 地域コラボレーション演習 I (1) *2年次 □ 地域コラボレーション演習 I (1) *3年次		
第六欄	<i>ラ</i>	大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次□ サばコラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次 □ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 道徳の歴史と方法(2)		
			□ 教育実践の最新動向(2)	l .	

第一村	科目区分	教科及び教職に関する科目 区分 各科目に含めることが必要な事項 科目名(単位数) 評価 取得年																	
	11423				英文法 I	(2)													
					-														
		英語学					(2)												
				□ ● 英文法 I (2) □ 英語学演習 I (2) □ 英語学演習 I (2) □ 英語学講證 I (2) □ 英語学講證 I (2) □ 英語学講證 I (2) □ 英語学神殊講義 I (2) □ 英語音学(2) □ 英語音学(2) □ 英末文学課證 I (2) □ 英来文学課證 I (2) □ 英来文学講證 I (2) □ 英来文学講證 I (2) □ 英来文学辨謝義 II (2) □ 英来文学特殊講義 II (2) □ 英東文学特殊講義 II (2) □ 英東大学特殊講義 II (2) □ 英東大学特殊講義 II (2) □ 英東大学特殊講義 II (2) □ 英東大学特殊講養 II (2) □ 英東大学特殊講義 II (2) □ 英東大学特殊講養 II (2) □ 英東大学特殊講養 II (2) □ 英語科教育法(2) □ 英語和教育法(2) □ 英語和教育法(2)															
					英語学特	₩ 排義IV	(2)												
				□ 英語学特殊講義 I (2) □ 英語学特殊講義 II (2) □ 英語学特殊講義 II (2) □ 英語学特殊講義 IV (2) □ 応用言語学 (2) □ ● 英米文学史 I (2) □ ● 英米文学講読 I (2) □ 英米文学講読 II (2) □ 英米文学講読 II (2) □ 英米文学演習 I (2) □ 英米文学特殊講義 II (2) □ 英米文学特殊講義 IV (2) □ □ コミュニケーション I B (2) □ □ コミュニケーション II B (2) □ コミュニケーション II B (2) □ コミュニケーション III B (2) □ コミュニケーション III B (2)															
					英語音声	学(2)													
	教				英米文学	史 I (2)													
	科				英米文学	學Ⅱ(2)													
	及び				英米文学講読 II (2)英米文学演習 I (2)英米文学演習 II (2)														
	教				英米文学	達講読Ⅱ(2))					土会 B 」 2 単位,							
	科の	英語文学			英米文学	上演習 I (2))												
第二村	指	光 丽又子			英米文学	上演習Ⅱ(2))												
カー川	^剿 導 法				英米文学	特殊講義	I (2)						B」2単位,						
	に				英米文学	特殊講義	II (2)					:社会B」2単位, 以上であること。							
	関				英米文学	特殊講義	III (2)						」2単位,						
	する				英米文学	特殊講義	IV (2)					景 B 」 2 単位,							
	科				コミュニ	ケーショ	ンIA(2)											
	目				コミュニ	ケーショ	ン I B (2))					B」2単位,						
					コミュニ	ケーショ	∠ II A (2))			9単位以上であること。								
				 □ ● コミュニケーション II A (2) □ コミュニケーション II B (2) 															
		英語コミュニク	「一ション																
					コミュニ	ケーショ	ンIII B (2))											
		III L. H. will be																	
		異文化理解		_															
		各教科の指導法 び教材の活用を																	
		い教例の指角を	- 白 U 。 /				(0)												
星級工	· エック	(円下のチェック	カ佰日お今で流	_				生化が授与	: さわます	-)									
4文作で ノ	□ 教養報	教育科目より,「	English Comm	unicati	onA又はB	, - 宋 時(」 2 単位,	「データ	サイエン	ス基礎」	。, , 2 単位,	「法と社会	ÈВ」 2 単	单位,						
		動と健康B」 2 [§] D必修・選択必備			こと。第	二欄からき	育六欄まで	での修得単	色位の合計	上 が59㎞	単位以上で	であること	•						
注1	科目名な	:どの後ろにある	,()内数字	は単位数	数である。	<u>— гич Уу</u>	14 · INS OF	12/14	₁ -< Ц Н	, ,, 00-	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,	- 0						
注2		:付している科目)」を付している			から選択』	必修とする	١٥												
注3	本紙は,	学期初め(1年)	前期除く)に	「履修単	位数確認	届」と共同		へ提出し	<u> 確認を</u>	そ得るこ	<u>ځ</u> .								
		「教育実習手引 目は,教育職員					<u> 科目であ</u>	る。											
						i 導教員確													
1年		2年	2年		3年		3年		4年		1年								
後期		前期	後期		前期		後期		前期										

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用)

養護教諭一種免許状

		学部養護教諭養成課程	(2年于上川) 食暖状間 恒旭刊 (
第一欄		教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	評価	取得年
>14 1149	科目区分	新 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職	TIA: 1 (TEM)	н і іші	20/10/1
	教育	教職の息義及の教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
第三欄	の基	教育の理念並びに教育に関す る歴史及び思想	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	礎的理	幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	□ ● 発達と学習(2)		
	解に関	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)		
	する科	秋月に関する社会的、間段的人 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 to)	□ ● 教育の社会制度論(2)		
	目	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		取得年
	目及び生徒	^徳 道徳、総合的な学習の時間及	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	指領導,	☆ ○特別店動に関する内谷 内	□ ● 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)		
第四欄	教育相相	器及び教材の活用を含む。)			
	談等に関	生徒指導の理論及び方法	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	すする	自教育相談(カウンセリングに関 算する基礎的な知識を含む。)の 去理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	教育	教育実習	□ ● 養護実習(4)		
	実践		□ ● 事前・事後指導(1)		
第五欄	に関	教育美智	□ 研究教育実習(2)		
	する		□ 学校教育支援実習(2)		
	科目	教職実践演習	□ ● 教職実践演習(養護教諭)(2)		
		ı	□ ● 介護等体験実習(1)		
			□ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1)		
			□ キャリアサポート実習II (1)		
			□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄		大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		
			— 2013/2004 CRAMENT 1/07	1	1

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用) 養護教諭一種免許状

	教育与	产的套護教育											I	
第一欄	科目区分		戦に関する科目 まめることが必要な事項				科目名	(単位数)				評価	取得年	
		(h- 11))/ ()			衛生学及	び公衆衛	生学 I (予防医学	を含む)	(2)				
		衛生字・公 学を含む。	衆衛生学(予防[)	左 □	衛生学及	び公衆衛	生学Ⅱ(2)						
		, 6 1 3 0	,		衛生学及	び公衆衛	生学実習	(2)						
					学校保健	(学校安全	全を含む) (2)						
					学校保健	研究 I (2)								
		学校保健			学校保健	研究Ⅱ(2)								
		子仅不厌			性の発達	と個人(2)	l							
					保健指導	[論(2)								
					学校安全	:特論(2)								
					養護学概	[論(2)								
					養護学演	[習 I (2)						社会 B 」 2 単位,		
		養護概説			養護学演									
						礎実習(1)	l							
					養護学集									
			及び救急処置を含む。)			活動の理		(2)						
		栄養学(食	品学を含む。)			び食品学	(2)							
	養護				解剖学 I									
第二欄	に	解剖学・生	理学											
	見月				-	生理学(2								
	る				生理学集		<i>-</i>	(0)						
	科目	「微生物学 論」	、免疫学、薬理			(免疫学	を含む)	(2)						
	Ħ	тшт 7			薬理概論									
		精神保健			精神保健									
		相們休健				(2) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4								
					・	: 心理学演	首(2)							
					子仪									
					臨床実習									
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· (2) : I (小児(足健を今	to) (2)						
						:Ⅱ (救急		-, , ,						
					臨床医科			2) (2)						
			床実習及び救急		臨床医科	• • • •								
		置を含む。)			□ ● 臨床医科学Ⅲ - 1 (5)									
						·学III — 2								
						· 学演習(2)								
						学実習(2)								
					母性保健	<u>t(1)</u>								
最終チェ	ック	(以下のチェ	ック項目を全て	満たすこ	とにより	,卒業時に	_教員免記	午状が授与	テされます	r.)	F			
			, 「English Co 2単位を修得し		ionA又は	B」 2 単位	,「デー	タサイエ	ンス基礎	」 2 単位	, 「法と	社会 B 」 2	2 単位,	
	全ての	り必修・選択	以必修科目を修得	している			第六欄ま	での修得単	単位の合語	十が 5 6 単	単位以上で	ぎあること	0	
			ある()内数5 科目は必修科目。		奴である。									
注3 本	紙は,	学期初め(1	年前期除く)に	「履修単	<u>位数確認</u>	届」と共に	指導教	員へ提出し	<u>確認</u> ?	を得ること	<u>と</u> 。			
<u> </u>	代に、	教育美智	手引」に綴り,こ	人切に保'		<u>』。</u> 旨導教員確	:認欄							
1 /5:		0 /T:	0 F						4 FT		4 FT			
1年 後期		2年前期	2年 後期		3 年 前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期			

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用)

中学校教諭一種免許状(保健)

	教育	学部養護教諭養成課程 教科及び教職に関する科目		T	
第一欄	科目区分	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	科目名(単位数)	評価	取得年
第三欄	教	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	□ ● 教職入門(2)		
	育の基	教育の理念並びに教育に関す る歴史及び思想	□ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2)		
	礎的理	幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	□ ● 発達と学習(2)		
	解に関	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	□ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1)		
	する科	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	□ ● 教育の社会制度論(2)		
	目	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)	□ ● 教育課程論(2)		
	徒 指 徳 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	道徳の理論及び指導法	□ ● 道徳の歴史と方法(2)		
	, 教育的な	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法	□ ● 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2)		
第四欄	談学 等習	教育の方法及び技術	□ ● 教育方法論 (2)		
	関する科の	情報通信技術を活用した教育 の理論及び方法	□ ◆ 教育におけるICT活用(1)		
	目 指 導 法 及	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の 理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関	□ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2)		
	び生	する基礎的な知識を含む。)の 理論及び方法	□ ● 教育相談の理論と方法(2)		
	教育実践	教育実習	□ ● 教育実習(中)(4)□ ● 事前事後指導(1)□ 学校生活体験実習 I(1)		
第五欄	日 1.7	教職実践演習	□ 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) □ ● 教職実践演習(幼・小・中・高)(2) □ 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1)		
	9	<u>l</u>	□ ● 介護等体験実習(1) □ 健康教育概論(2)		
			□ キャリアサポート実習 I (1) □ キャリアサポート実習 II (1) □ キャリアサポート実習 II (1)		
^ _L. J₽₽		L 쓰스 20¼4 년) ~=만년 노 ~ 전 면	□ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 2年次		
第六欄		大学が独自に設定する科目	□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次□ 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次		
			□ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 2年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 3年次		
			□ 地域コラボレーション演習 II (1) * 4年次		
			□ 教育実践の最新動向(2)		

「教員免許取得チェックシート」(24P学生用)

中学校教諭一種免許状 (保健)

	教育	学部養護教	対論養成課程										
第一欄	科目区分		数職に関する科目 に含めることが必要な事項				科目名	(単位数)				評価	取得年
					生理学(2	<u>'</u>)							
		生理学・栄養学											
				病理学(2									
			栄養学		微生物学	(免疫学	を含む)	(2)					
	*				解剖学 I								
	中				解剖学Ⅱ	(2)							
	学 校教				栄養学及	び食品学	(2)						
	二科				衛生学及	び公衆衛	生学 I (予防医学	を含む)	(2)			
	種及のび	衛生学·	公衆衛生学		衛生学及	び公衆衛生	生学Ⅱ(2)	ı					
	場教				衛生学及	び公衆衛	生学実習	(2)					
	合科はの				学校保健	(学校安:	全を含む) (2)					
公一 担	t≌				健康相談	活動の理	論と方法	(2)					
第二欄	太導				小児科学	I (小児·	保健を含	む) (2)					
	字法のに		保健(小児保健、精神保 学校安全及び救急処置を)		小児科学	Ⅱ(救急	処置を含	む) (2)					
					□ ● 精神保健(2)								
	目す	(建、子仪) 含む。)			□ 児童臨床心理学(2)								
	必科				児童臨床	心理学演	習(2)						
	修目と				学校保健	研究 I (2)							
	す				学校保健	研究Ⅱ(2)							
	る				性の発達	と個人(2)							
					保健科教	育概論(2))						
			指導法(情報機器及	法(情報機器及 □ ● 保健授業論(2)									
		び教材の	活用を含む。)		保健教材	論(2)							
						方法論(2)							
			ニェック項目を全て浴 こり,「English Comm								「法レ社会	≳B」2単	i台
	「運動	助と健康₿	3」2単位を修得し、	ている。									
注 1 1] 全て <i>0</i> 4日名か	<u>り必修・選</u> ・どの後ろ	<u> 誤火必修科目を修得</u> にある()内数字	している こけ単位を	<u>こと。第.</u> 数であろ	二欄から第	言六欄まで	での修得単	位の合語	十が 5 9 単	単位以上で	ぎあること	0
注2	「●」を	付してい	る科目は必修科目と	:する。			_ 11- 14-14 5			5 /B B — 1			
	ド紙は, ド紙は,		<u>(1 年前期除く)に</u> 習手引」に綴り,大				指導教員	へ提出し	<u>, 催認</u>	を得ること	<u> </u>		
			教科の指導法」以外		教育職員免	色許法で定		的包括的	内容を含	む科目で	ある。		
,					- 指	導教員確	認欄				T		,
1年		2年	2年		3年		3年		4年		4年		
2公世		兴地	公出		光州		2公田		光畑		2公田		I /

教育学部養護教諭養成課程 教科及び教職に関する科目 取得年 第一欄 科目名(単位数) 評価 科目区分 各科目に含めることが必要な事項 教職の意義及び教員の役割・職務 内容(チーム学校運営への対応を □ ● 教職入門(2) 教 含む。) 育 教育の理念並びに教育に関す 0) □ ● 人間教育論 I (教育の理念と歴史) (2) る歴史及び思想 基 礎 幼児、児童及び生徒の心身の 的 □ ● 発達と学習(2) 発達及び学習の過程 理 第三欄 解 特別の支援を必要とする幼児、児 □ ● 特別な教育的ニーズの理解とその支援(1) に 童及び生徒に対する理解 関 す 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含 □ ● 教育の社会制度論(2) る 科 教育課程の意義及び編成の方法 \exists (カリキュラム・マネジメントを □ ● 教育課程論(2) ^{目 及道}総合的な学習の時間の指導法 び徳 □ ● 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(2) 生., 特別活動の指導法 徒 総 指合 導的 教育の方法及び技術 □ ● 教育方法論(2) 教学 情報通信技術を活用した教育 第四欄 育習 □ ● 教育におけるICT活用(1) 祖の四理論及び方法 談時生徒指導の理論及び方法 等間 に等進路指導及びキャリア教育の □ ● 生徒指導・進路指導の理論と方法(2) 関の理論及び方法 す指教育相談(カウンセリングに関す る導る基礎的な知識を含む。) の理論 □ ● 教育相談の理論と方法(2) 科法及び方法 教育実習(高)(2) 事前事後指導(1) ※教育実習の単位については、以下のいずれかの単位をもって 教 あてることができる 育 · 教育実習(中)(4)*3年次中学校実習 中学校コース 実 教育実習 特別支援 (中学校) 践 事前事後指導(1) *3年次中学校実習 第五欄 教育実習(小)(2)*3年次小学校実習 関 小学校コース, す 教育実習(中)(2)*4年次中学校実習 特別支援 (小学校) る 事前・事後指導)(中)(1)*4年次中学校実習 科 学校生活体験実習 I (1) 目 教職キャリア基礎演習(幼・小・中・高)(1) 教職実践演習 □ 動職実践演習(幼・小・中・高)(2) 教職キャリア発展演習(幼・小・中・高)(1) 介護等体験実習(1) 健康教育概論(2) キャリアサポート実習 I(1) キャリアサポート実習Ⅱ(1) П □ ● 地域コラボレーション演習 I (1) * 1年次 地域コラボレーション演習 I (1) П * 2年次 地域コラボレーション演習 I (1) * 3年次 第六欄 大学が独自に設定する科目 地域コラボレーション演習 I (1) * 4年次 □ ● 地域コラボレーション演習 II (1) * 1年次 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 2年次 П 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 3年次 地域コラボレーション演習Ⅱ(1) * 4年次 道徳の歴史と方法(2) 教育実践の最新動向(2)

	教育	字 計 養 護 教 諭 養 成	踩性										
					生理学(2)								
					生理学実習	(2)							
		化加尔 宏美兴		□ ● 微生物学(免疫学を含む)(2)									
		生理学・栄養学			□ ● 解剖学 I (2)								
					解剖学Ⅱ(2)							
					栄養学及び	食品学	(2)						
	教科		□ ● 衛生学及び公衆衛生学 I (予防医学を含む	を含む)	(2)								
	人	衛生学・公衆衛生	生学		衛生学及び	及び公衆衛生学Ⅱ(2)							
	U.				衛生学及び								
	教科				学校保健(健(学校安全を含む)(2)							
	0)				健康相談活	動の理	論と方法(2	2)					
第二村	損 指導	指			小児科学 I	(小児·	保健を含む	(2)					
	法				小児科学Ⅱ	(救急	処置を含む	(2)					
	に関	に 学校保健(小児保健、精神保 関 健、学校安全及び救急処置を			□ ● 精神保健(2)								
	す	(建、子校女主及() 含む。)	プ 初 記 処 直 を		児童臨床心	理学(2)							
	る科				児童臨床心	理学演	習(2)						
	日目			□ 学校保健研究 I (2)									
			□ 学校保健研究 II (2)										
				□ 性の発達と個人(2)									
				□ ● 保健科教育概論(2)									
		各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)		□ ① 保健授業論(2) 教科の指導法									
					保健教材論	(2)		2 単位	逐択必何	多			
					保健教育方			J					
	□ 教養 「運	(以下のチェック 教育科目より,「E 動と健康B」2単 の必修・選択必修	nglish Commur 位を修得してい	nicati いる。	onA又はB」:	2 単位,	「データサ	イエン	ス基礎」	2 単位,			
注 1	科目名な	よどの後ろにある	() 内数字に	は単位数	数である。	F1411 271	V. 11110 0 1	12 14 1	<u> </u>	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-, 4	
注2	「①」 を	と付している科目に と付している科目に	は必修科目とす は、同一番号内	」る。 引から追	異択必修とす	-る。							
注3	本紙は,	学期初め(1年前	期除く)に「履	夏修単	位数確認届」	と共に	指導教員	へ提出し	確認?	と得ること	<u>≤</u> 。		
注 4 注 5	平紙は, 太字の₹	「教育実習手引」 斗目は,教育職員分	に綴り,大り 免許法で定める	りに保て 5一般的	言すること。 内包括的内容	を含む	科目である						
	· · · · ·			,		教員確							
1 年		9年	9年		9年		9 年		1年		1年		
1年 後期		2年 前期	2 年 後期		3年前期		3年 後期		4年 前期		4年 後期		